

# 荒砥上ノ坊遺跡Ⅲ

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部  
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

歴史時代後半期の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 7

群 馬 県 教 育 委 員 会

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



資

文化財  
団保管

No. <sup>417-</sup>2686 | 平成 9 年 2 月 17 日

01-353  
628  
2(5)



# 荒砥上ノ坊遺跡Ⅲ

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部  
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

歴史時代後半期の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 7

群馬県教育委員会  
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



## 例言・凡例

1. 本書は、昭和57年度県営園地整備事業荒砥北部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書「荒砥上ノ坊遺跡Ⅲ」《遺物観察表編》である。
2. 遺物は、本文編に掲載した挿図中の実測図の順に掲載している。
3. 遺物の種類毎に表の書式は異なっている。
4. 遺物番号は挿図中の遺物番号に一致している。
5. 表中に使用した記号や略号は各々以下の通りである。

器種 《土器》「須恵器＊」は、10世紀後半頃に出現するロクロ使用・酸化焙焼成の土器を示す。  
法量 《土器》口：口縁部直径 底：底部直径 高：器高 胴：胴部最大径  
なお、計測値に () を付したものは復元値である。  
《石器》・《金属器》法量は残存状態で計測した。厚さは、おおむね断面実測位置で計測した。  
色調 陶磁器を除いて土器の色調は小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修を用いて記載した。
6. 土器の「器形・整形の特徴」の記述は、下記の文献における土器の記述に準拠しておこなった。  
坂口一・三浦京子1986「奈良・平安時代の土器の編年一住居の重複と共存関係による土器形式組列の検討一」群馬県史研究24号
7. 石器の石材については、飯島静雄氏（群馬県地質研究会会員）の分類・同定による。

## 目次

1. 歴史時代前半期の出土遺物（第Ⅱ分冊補遺）…………… 1
2. 歴史時代後半期の出土遺物…………… 1





# 1. 歴史時代前半期の出土遺物 (第II分冊補遺)

2区10号住居出土遺物観察表〈土器〉第7図・PL24

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1583	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR5/6	丸底から口縁部が短く内湾する。 外側 口縁部横ナデ。底部直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部～底部丁寧ナデ。
1584	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.0cm)		埋没土	①微細黒色炭粒を多く含む ②酸化焼。 ③焼5YR5/6	丸み気味の丸底から、口縁部が短く内湾する。 外側 口縁部横ナデ。底部横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部～底部丁寧ナデ。

2区28号住居出土遺物観察表〈土器〉第8図・PL28

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1605	土師器 甕形土器	口縁～底部下位片残存 口 (20.4cm)		西壁際 床面上9cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/4	口縁部が一旦少し直立して、上位で外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り後、中位～下半縦方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。
1612	須恵系 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.4cm) 高 3.9cm 底 6.4cm		埋没土	①小礫を少量含む。 ②還元焼。 ③焼5Y3/7	底径がやや小さく、体部中位に膨らみをもつ。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転直削り。無調整。
1611	土師器 杯形土器	口縁部片欠損 口 13.0cm 高 3.3cm 底 10.3cm		竈内 使用面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/6	大きめの平底から、腹をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は、さらに外反してから内湾する。外側 口縁部横ナデ。体部指押さえ。底部直削り。内側 口縁部横ナデ。底部～底部丁寧ナデ。

# 2. 歴史時代後半期の出土遺物

1区3号住居出土遺物観察表〈土器〉第11図・PL1

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1446	土師器 椀形土器	口縁～高台部片残存 口 (14.0cm) 高 5.5cm 底 (7.0cm)		貯蔵穴内 床面上27cm	①微砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR6/4	小さな平底から、大きく外反する体部に至る。口縁部は内湾する。やや高い高台を付す。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方向直削り後、上半直ナデ。横溝「安?」 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。
1449	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.0cm) 高 4.4cm 底 (7.0cm)		貯蔵穴 埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	小さめの底部から膨らみをもって、大きく外反する体部に至る。口縁部は肥厚し、やや内湾する。外側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り後、上半直ナデ。底部直削り。周縁のみ直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部～底部丁寧ナデ。
1447	須恵系 高台付 椀形土器	底部残存 底 (8.0cm)		竈左前 床面上4cm	①微砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③ (内) 黒褐色10YR3/2 (外) 灰褐色2.5Y7/2	断面台形の低い高台を付す。 外側 底部回転直削り。無調整。付高台。
1448	須恵系 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 底 7.0cm		竈 埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5Y6/4	わずかな丸みをもつ体部に、断面三角形の低い高台を付す。 外側 体部回転ナデ。底部回転直削り。無調整。
1440	土師器 甕形土器	口縁～底部下位片残存 口 (18.2cm)		竈前 床面上22.5cm	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	体部の膨らみは残るが、口縁部上位と下位の屈曲は弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。下半斜・斜方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。
1442	土師器 甕形土器	口縁～体部中位片残存 口 (18.0cm)		竈内 使用面直上22cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼6YR4/4	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。
1445	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (23.0cm)		南東隅 床面上1.5cm	①微砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	胴部に膨らみをもつて、口縁部が短く外反する。両部外側に面とする。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。
1441	土師器 甕形土器	口縁～体部中位片残存 口 (19.2cm)		竈 埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。
1443	土師器 甕形土器	口縁～体部上位片残存 口 (19.4cm)		竈 埋没土	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	丸みのある体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。

遺物観察表

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1444	土器器 壺形土器	口縁～体部上位破片 口 (19.0cm)		竈前 床面上22.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向置ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置ナデ。
1450	須置器 甕	5/残存 高 3.3cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰NS/	高さ1cmほどの縁にのみこまれた縁状の本体に、棒状の脚が付けられている。粗雑な粘土紐で脚と縁が区切られており、縁は縦帯な平面面になっている。全体は隅丸正方形に近しいと思われ、脚もあと1対付けされていたと考えられる。底部には布目圧痕がつけられている。

Ⅰ区3号住居出土遺物観察表(金属器)第13回・PL1

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M1	釘	7.0・1.2 0.6	鉄	北壁際 床面上4.5cm	やや巾広の鉄釘。先端部がわずかに欠損している。断面は正方形に近い方形。ほぼ先形。
M2	釘	5.8・1.2 0.5	鉄	貯蔵穴内 底面上42cm	先端部と頭部の一部が欠損している。断面は長方形に近い方形。同じ住居で出土したM1と同寸の釘と思われる。
M3	釘	5.0・1.4 0.5	鉄	貯蔵穴 埋没土	頭部の厚みが著しく、頭部の折れ曲がり部の形跡は不明。先端部も欠損している。断面形は先端近くをみると長方形。

Ⅰ区4号住居出土遺物観察表(土器)第13回・PL2

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1456	須置器 高台付 壺形土器	口縁部内・高台部欠損 口 15.4cm		北東隅P 底面上17.5cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③灰オリーブ5Y6/2	大形で体部にわずかな丸みをもつ。底部内面に横付筋。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ。無調整。
1457	須置器 高台付 壺形土器	口縁～底部片残存 口 15.1cm 高 4.7cm 底 7.4cm		中央P 底面上4cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	丸みをもつ口縁部から外反する口縁に至り、断面台形の低い高台を付す。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ。付高台。
1458	須置器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 13.3cm 高 3.9cm 底 7.8cm		貯蔵穴 底面上21.5cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/2	体部が直線的に外反する。口縁部内面端部に面とり。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転ナデ。無調整。
1459	土器器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.6cm) 高 3.7cm		北壁際 床面上2cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	平流の、ややゆがみをもつて外反する体部に至る。口縁部は、さらに外反して中部は内湾する。内面は玉縁状。外側 口縁部横ナデ。体部横ナデ。底部置ナデ。中央部に無調整部分があり、大きいくこんでいる。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1453	土器器 壺形土器	口縁～体部上位(破片) 口 (19.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③褐色7.5YR6/6	丸みのある体部上位から直立して、短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向置ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置ナデ。
1451	土器器 壺形土器	口縁～体部片残存 口 (19.8cm)		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色7.5YR6/4	丸みのある体部から直立して、上方で短く外反する口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部下縦方向置ナデ。体部下横方向置ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。
1454	土器器 高台付 壺形土器	口縁～体部上位片残存 口 (13.0cm)		貯蔵穴際 床面上19.0cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色7.5YR5/4	口縁部が一旦直立して上位で外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上半横方向置ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上半横方向置ナデ。
1452	土器器 壺形土器	体部下位～底部残存 底 (3.0cm)		竈前中央部 床面上2.0cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③暗褐色5YR3/3	ごく小さな底面から、外反する体部に至る。 外側 体部下縦方向置ナデ。底部置ナデ。 内側 体部下縦方向置ナデ。底部置ナデ。
1455	土器器 高台付 壺形土器	体部下位～台部残存 底 (9.8cm)		貯蔵穴 底面上33cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色7.5YR6/4	丸みのある体部から、短く外反する短い台部に至る。 外側 体部横方向置ナデ。底部および接合部ナデ。 内面 体部横方向置ナデ。底部および接合部ナデ。

Ⅰ区5号住居出土遺物観察表(土器)第14回・PL3

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1462	土器器 杯形土器	完形 口 12.4cm 高 3.8cm 底 6.2cm		貯蔵穴南縁 床面上3cm	①微細砂・細砂を含む。褐色 鉱物粒を含む。②酸化焼。 ③褐色10YR6/1	小さめの平底から、大きく外反する体部に至る。口縁部はやや肥厚する。 外側 口縁部横ナデ。体部斜・横方向置ナデ。上部横ナデ。底部置ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1463	土器器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.4cm) 高 4.0cm 底 (6.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③褐色7.5YR7/6	小さめの底部から、大きく外反する体部に至る。口縁部はやや外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。上部横ナデ。底部置ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1460	土器器 壺形土器	口縁～体部中位片残存 口 17.7cm		竈左側 床面上2.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色7.5YR7/4	ほとんど膨らみのない体部から、ゆるやかに短く外反する口縁部に至る。口縁部外面に面とり。外側 口縁部横ナデ。体部横ナデ。縦方向置ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。丁寧ナデ調整。部分的に置ナデ片が残る。
1461	土器器 壺形土器	口縁～体部下位片残存 口 (20.0cm)		竈内 使用面上25cm	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色2.5YR4/4	器内が厚く、胴部に膨らみをもつて短く外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部下縦方向置ナデ。体部下横方向置ナデ。上部横ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

I区5号住居出土遺物観察表(土器)第14図・PL3

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質 石質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S142	円罐	10.1・10.1 4.5	粗粒輝石安山岩 85	埋没土	顕著な使用痕はないが、全体に平滑で、上面および下面の大部分に炭化物が付着している。
S141	煎石	8.6・6.2 4.8	粗粒輝石安山岩 85	埋没土	やや湾曲した棒状。小口の一端に最良痕が残る。

I区9号住居出土遺物観察表(土器)第16・17図・PL5・6

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②胎色 ③色調	器形・整形の特徴
1469	土師器 杯形土器	口縁~底部片残存	口 12.1cm	P2西 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼SYR6/6	やや膨らんだ大きめの平底から、腹~横をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反する。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部直ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1468	土師器 杯形土器	口縁部欠損	口 12.3cm 高 3.4cm	貯蔵穴内 底面直上	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼SYR6/6	大きめの平底から、横をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は肥厚し、さらに外反してやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・横方向指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1470	土師器 杯形土器	口縁~底部片残存	口 12.0cm 高 3.3cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色SYR5/4	平底から、やや膨らみをもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部はさらに外反し、端部は内湾する。内面微細玉縁状。 外面 口縁部横ナデ。体部直ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1471	土師器 杯形土器	口縁~底部破片	口 12.3cm 高 3.2cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③焼SYR6/6	大きめの平底から、横をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反し、端部は内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部直ナデ。底部直削り。内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1472	土師器 杯形土器	口縁~底部片残存	口 14.0cm 高 3.6cm 底 8.0cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼SYR6/6	平底から横をもって外反する大形の体部に至る。口縁部は内湾し、内面端部は玉縁状。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1485	須恵器 杯形土器	口縁~底部片残存	口 12.4cm 高 3.2cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰N4/	体部中位に膨らみをもつ。口縁部が外反り突縁に開く。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1475	須恵器 杯形土器	口縁~底部片残存	口 13.4cm 高 3.6cm 底 6.0cm	中央北西寄り 床面直上	①微細砂・小礫を含む。 ②還元肌。 ③黄緑2SY6/1	底径が小さく、わずかな膨らみをもつ体部から、小さく外反する口縁部に至る。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1484	須恵器 杯形土器	完形	口 12.6cm 高 3.2cm 底 7.7cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰SY6/1	体部が直線的に外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1477	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 12.8cm 高 3.8cm	貯蔵穴内 床面下16.5cm	①細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰オリーブSY6/2	底径が小さく、口縁部が外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1476	須恵器 杯形土器	ほぼ完形	口 12.2cm 高 3.5cm 底 5.2cm	中央部 床面上7.5cm	①微細砂とわずかな細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白SY7/1	底径が小さく、口縁部が外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1480	須恵器 杯形土器	ほぼ完形	口 13.0cm 高 3.1cm 底 6.2cm	貯蔵穴内 底面直上	①微細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色SYR5/4	体部が直線的に外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1483	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 13.2cm 高 3.1cm 底 7.0cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③黄緑2SY6/1	体部が強く、直線的に外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り後、周縁部ナデ。
1482	須恵器 高台付 杯形土器	体部中位~高台部分残存	高 8.7cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰SY6/1	わずかな膨らみをもつ深い体部に、闊いた高台を付す。 内外面 体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。付高台。
1479	須恵器 杯形土器	口縁部片残存	口 13.0cm 高 3.8cm 底 7.2cm	貯蔵穴内 底面上1.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白SY7/2	体部中位に膨らみをもつ。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1478	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 12.6cm 高 3.5cm 底 6.0cm	貯蔵穴内 底面上20.5cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元肌。 ③灰7SY5/1	底径が小さく、口縁部が大きく外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1481	須恵器 蓋形土器	ほぼ完形	口 11.0cm 高 3.2cm	北西隅 床面下6.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰N5/	水平の天井部から、直線的に開く体部を経て、直上に折れる口縁部に至る。定規形のつまみを付す。 内外面 口縁部~天井部回転ナデ調整。
1487	須恵器 蓋形土器	体部中位破片 最 70.0cm		埋没土	①細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰SY5/1	体部中位に最大径をもつと思われる大蓋の体部破片。 外面 体部平行タタキ。 内面 体部同心円状タタキ。
1486	須恵器 蓋形土器	体部~体部上位破片		埋没土	①黒色の同体。 ②還元肌。 ③灰SY5/1	目の帯る体部。 外面 体部平行タタキ。 内面 体部同心円状タタキ。

遺物観察表

番号	部 種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形 形 ・ 整 形 の 特 徴
1465	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	19.4cm	南蔵石袖 床面上8cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③濃い赤褐色5YR5/4	体部の膨らみはあるが、口縁部の上位・下位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。指頭残存。体部上平縁・斜方向削り。下半縦方向削り。内面 体部上方削りナデ。
1466	土師器 甕形土器	口縁～体部残存 底部一部残存	口 20.2cm 高 28.5cm 底 (4.4cm)	北蔵内 使用面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	体部の膨らみが小さく、口縁部上位と下位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向削り後、中位～下位縦方向削り。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部横方向削りナデ。
1467	土師器 古付 甕形土器	口縁～台部上残存 口 (12.6cm) 高 15.9cm	甕穴内 口 (8.0cm)	貯蔵穴内 底面上13cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	丸みのある体部から直立して、上位で短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り、下半縦方向削り。底部および接合部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。底部および接合部ナデ。
1473	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	20.0cm	南蔵左袖 使用面上3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	丸みのある体部から直立して、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り後、下半縦方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。
1474	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	20.4cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸みのある体部から直立して、上方で短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部下半縦方向削り。中位斜方向削り。上位横方向削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。
1464	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	19.3cm	東蔵寄り 床面上13cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	体部の膨らみが小さく、口縁部の下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部中位～下半縦方向削り。

I区9号住居出土遺物観察表《石器》第18回・PL.6

番号	部 種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 質	出土位置	形 状 ・ 調 整 加 工 の 特 徴
S144	紡錘車	上径 5.7 下径 2.7 厚さ 1.6	硬砂岩 62.3	埋没土	薄形の紡錘車。実形。上面は両縁部がやや膨らみ、中央部がへこんでいる。一部に使用時の磨打状の欠割がある。下面および側面は、成形時のものと思われる線条痕が残る。
S143	紡錘車	上径 4.4 下径 3.3 厚さ 1.1	硬砂岩	P1層 床面下6cm	薄形の紡錘車。実形。上部縁は使用により欠損部が目立つ。上面に「羊」「美」「東」の3箇書がみられる。側面にとも一部に刻線が観察できるが、文様なのか使用による磨痕なのか断定できない。
S145	礫石	1.5 × 2.1 0.5	砂岩	埋没土	隅丸三角形の扁平な石。実形。顕著な整形痕は認められないが、つるつるしている。
S149	礫石 礫石	14.2 × 12.2 4.9	龍崎礫石(安山岩) 1190	埋没土	扁平な円縁の側縁に縦打痕が残る。上面中央には磨り面が残る。
S147	礫石	15.4 × 7.0 5.13	龍崎礫石(安山岩) 820	埋没土	一部が磨削している棒状。小口の一端に浅い縦打痕が残る。また、右側面中央に深い準楕圓がある。
S148	礫石	14.5 × 5.4 4.5	龍崎礫石(安山岩) 590	埋没土	棒状。小口の両端に、浅く広い縦打痕が残る。右側面に、細かな縦打痕が広く残る。
S146	礫石	19.8 × 6.3 5.2	龍崎礫石(安山岩) 840	埋没土	小口の一端に縦打痕が残る。

I区9号住居出土遺物観察表《金属器》第18回

番号	部 種	長さ・幅 厚さ (cm)	材 質	出土位置	形 状 ・ 調 整 加 工 の 特 徴
M5	針?	9.9 × 0.4 0.5	鉄	P1西脇 床面直上	両端が鋭く尖った針状の鉄製品。断面は正方形。実形。

I区11号住居出土遺物観察表《土器》第19回・PL.7

番号	部 種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形 形 ・ 整 形 の 特 徴
1489	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存	13.4cm 高 4.0cm 底 6.0cm	中央 床面上7.5cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y8/1	底径が小さく、口縁部が外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1490	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存	13.7cm 高 3.4cm 底 7.2cm	南蔵壁 床面上3.5cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	直線的で浅い体部。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部磨削が著しいが、回転未切り無調整と考えられる。

I区12号住居出土遺物観察表《土器》第21回・PL.7

番号	部 種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形 形 ・ 整 形 の 特 徴
1491	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存	20.2cm	甕壁 使用面上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸みのある体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削りナデ。
1492	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	12.5cm 高 3.1cm 底 6.7cm	南蔵壁 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y8/1	浅い体部から、口縁部が外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1493	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	12.7cm 高 3.6cm 底 6.5cm	南蔵壁 床面上5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	底径が小さく、やや深い体部。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り後、両縁部回転ナデ調整。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	品類	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1494	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	貯蔵穴内 口 12.9cm 高 3.5cm 底 6.2cm	貯蔵穴内 底面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	底径が小さく、やや深い体部から口縁部が外反する。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。

I区14号住居出土遺物観察表(土器)第23図・PL.8

番号	品類	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1497	土師器 杯形土器	完形	南P壁 口 12.1cm 高 3.4cm 底 8.4cm	南P壁 底面上22cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部はさらに外反し、底部は内湾する。内面底部は玉縁状。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部-底部丁寧ナデ。
1498	土師器 杯形土器	口縁-底部片残存	中央P内 口 (12.0cm) 高 3.5cm 底 (7.4cm)	中央P内 底面上27cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	平底からやや膨らみながら、大きく外反する体部に至る。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部-底部丁寧ナデ。
1496	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	北壁際 口 13.0cm 高 4.0cm 底 6.3cm	北壁際 床面上9.3cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y7/1	底径が小さく、直線的に開く体部。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り後、周縁ナデ調整。
1495	須恵器 高台付 椀形土器	口縁部欠損	南東隅 口 14.5cm 高 6.0cm 底 7.3cm	南東隅 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y5/1	わずかな膨らみをもつ深い体部で、断面が方形の高台を付す。体部に口ノビが顕著。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。付高台。

I区15号住居出土遺物観察表(土器)第25図・PL.9

番号	品類	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1503	須恵器 杯形土器	口縁-底部片残存	南東貯蔵穴内 口 (13.2cm) 高 3.9cm 底 6.0cm	南東貯蔵穴内 底面上15.5cm	①微細砂とわずかな小骨を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	浅い体部から口縁部が外反する。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1504	須恵器 杯形土器	口縁-体部下位片残存	南東貯蔵穴内 口 14.0cm 高 4.6cm 底 6.3cm	南東貯蔵穴内 底面上7cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/2	体部が深く、直径が小さい。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。
1502	須恵器 高台付 椀形土器	口縁-底部片残存	南東貯蔵穴内 口 (15.2cm) 高 4.9cm 底 7.0cm	南東貯蔵穴内 底面上7.5cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5YR5/1	浅い体部が直線的に外反し、開いた低い高台を付す。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1505	須恵器 高台付 椀形土器	口縁-底部片残存	南東P 口 (16.4cm)	南東P 底面上75.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい黄橙10YR7/3	丸みをもつ浅い体部から、外反する口縁部に至る。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1501	土師器 変形土器	体部下位-底部残存	北壁 底 3.4cm	北壁 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい黄橙10YR6/4	小さな平底から、直線的に外反する体部に至る。 外面 体部下位縁方向直削り。底部直削り。 内面 体部下位-底部横方向直削り。
1500	土師器 変形土器	口縁-体部上位片残存	P内 口 (20.6cm)	P内 底面上7cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい橙7.5YR6/4	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。指頭残存。体部上位横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。指頭残存。体部上位横方向直削り。
1499	土師器 変形土器	口縁-体部上位片残存	南石軸 口 (19.2cm)	南石軸 崩落土中	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい橙7.5YR7/4	丸みのある体部上位から直立して、上位が短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。

I区15号住居出土遺物観察表(石器)第25図・PL.9

番号	品類	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重 (g)	材 質 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S150	鉄釧串	上径 4.4 下径 3.4 厚さ 1.4	鉋紋石 43.5	北東隅 床面上7cm	錐形の鉋釧串。上面縁の一部が欠損しているがほぼ完形。上面は平滑で、「元井」の刻痕がある。断面は、使用時の握りと思われる縁線部が多量にあるが、湾曲した痕(爪)の刻痕の可能性もある。下面は自然面に近い状態であり、使用によるつるつるした質感になっている。	
S151	磨石 磨石	18.9 × 6.8 4.6	粗粒輝石安山岩 900	埋没土	棒状磨石の両端に環打痕が残る。上面右半には、磨面があり3条の凹線がみられる。一部欠損。	
S193	磨擦架材	28.3 × 15.5 6.8	粗粒輝石安山岩 348	埋没土	扁平な磨石。電の構築材として使用されていたと考えられる。下面は被熱により、変色している。	

I区16号住居出土遺物観察表(土器)第26図・PL.9

番号	品類	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1506	須恵器 杯形土器	完形	南部 口 13.0cm 高 4.5cm 底 5.4cm	南部 床面上直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③灰7.5Y6/1	底径が小さく、体部は直線的に外反する。 内外面 口縁部-体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。

遺物観察表

I区17号住居出土遺物観察表(土器)第28回・PL11

番号	器種	残存 状況	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴	
1226	土器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (12.0cm) 高 3.4cm	堀石輪 使用面上5.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③焼2.5YR6/8	やや膨らんだ大きめの平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反する。口縁部ははやや内湾。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1227	土器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (12.7cm) 高 3.2cm	南東隅 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼2.5YR6/6	やや膨らんだ平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反する。口縁部ははやや内湾。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1228	土器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 12.0cm 高 3.5cm	南東隅 床面上2.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR3/6	大きめの平底から、稜をもって外反する体部に至る。口縁部と体部の間には段があり、口縁部は内湾する。内面端部は玉縁状。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1229	土器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (12.1cm) 高 3.5cm	堀石輪 使用面上5.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼2.5YR6/6	大きめの平底から、稜をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1230	土器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 (12.4cm) 高 3.7cm	堀石輪 使用面上5.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ④にぶい焼7.5YR6/4	大きめの平底から、直立に近く立ち上げる体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1231	土器 杯形土器	口縁部欠損	口 12.3cm 高 3.2cm 底 9.1cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR3/6	大きめの平底から、稜をもって外反する体部に至る。口縁部と体部の間には段があり、口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1232	土器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (12.4cm) 高 3.6cm	掘り方埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR3/6	大きめの平底から、稜をもって、直立に近く外反する体部に至る。口縁部はさらに外反してから内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛りナデ。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。	
1233	土器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (12.0cm) 高 3.1cm 底 (9.0cm)	掘り方埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼5YR6/6	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③にぶい赤褐色5YR3/4	大きめの平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反する。口縁部ははやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛りナデ。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1237	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (13.6cm) 高 3.5cm 底 (7.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ④にぶい赤褐色5YR3/4	体部が直線的に外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ調整。底部回転全切り。無調整。	
1238	須恵器 杯形土器	口縁～底部に残存	口 (11.0cm) 高 4.1cm 底 (7.2cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	底径が小さく、体部が直線的で深い。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転全切り。無調整。部分的に寛縁が残る。	
1236	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 12.2cm 高 3.6cm 底 6.6cm	中央やや西 床面上4cm	①黒色炭粉粒を多く含む。 ②還元肌。 ③灰白N7/	あけ気味の底面から、体部下位に膨らみをもち、口縁部が反り気味に開く。 内外面 口縁部～体部回転ナデ調整。底部回転全切り。無調整。	
1240	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部欠破片	口 (15.0cm)	掘り方埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ④灰白N6/	水平な天井部から、ゆるやかに両側を越える体部を経て、口縁部が直線的に折れる。 内外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。	
1239	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部欠破片	口 (20.0cm)	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	ゆるやかに両側を越える体部から、直線的に折れる口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部回転寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。	
1221	土器 台付 蓋形土器	口縁～体部上位残存	口 (13.2cm)	中央やや東寄 床面上28cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR3/6	体部の膨らみがあるが、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方方向寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位ナデ。	
1222	土器 蓋形土器	口縁部破片	口 (20.6cm)	堀中央 使用直上	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼2.5YR6/8	「コ」の字状の口縁部を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方方向寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方方向寛りナデ。	
1223	土器 蓋形土器	口縁部に残存	口 (21.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR3/6	体部の膨らみが小さく、口縁部の「コ」の字状がくずれている。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方方向寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方方向寛りナデ。	
1224	土器 蓋形土器	口縁～体部中位に残存	口 (20.4cm)	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色2.5YR5/8	体部の膨らみが小さく、口縁部の「コ」の字状がくずれている。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方方向寛りナデ。中位横方方向寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方方向寛りナデ。	
1225	須恵器 蓋形土器	口縁～体部上位破片	底 5.2cm	埋没土	①細砂・白色小礫を多く含む。 ②還元肌。 ③灰N5/	肩の張る体部から、直立に近く外反する高い口縁部に至る。 外面 口縁部～体部結びくり成形。回転ナデ。 内面 口縁部～体部回転ナデ。	
1234	土器 杯形土器	口縁～体部下位に残存	口 (21.6cm)	掘り方埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ④にぶい焼7.5YR6/4	ハの字に大きく外反する。口縁部はゆるやかな底縁を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方方向寛り。斜方方向寛りナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横・縦方方向ハケミ後ナデ。下半横方方向寛りナデ。	
1235	須恵器 瓶	体部中位～底部に残存	底 5.2cm	北西やや中央寄り 床面直上	①細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰5Y3/1	小さな底面から、やや膨らみをもって立ち上げる体部に至る。 外面 体部回転ナデ。下端のみ横方方向回転ナデ。底部回転全切り無し無調整。内面 体部回転ナデ。	

I 区17号住居出土遺物観察表(石物) 第28回・PL11

番号	部 種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S123	磁石	14.1・5.2 4.35	灰質安山岩 190	埋没土	断面が三角形の棒状物。小口の一部に敲打痕が残る。完存。

I 区18号住居出土遺物観察表(石物) 第30回・PL11

番号	部 種	残 法 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器 形 ・ 整 形 の 特 徴
1509	須恵陶 高台付 椀形土器	口縁～底部片残存 口 (15.2cm) 高 5.2cm 底 (7.3cm)	南東隅 床面上16cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③色2.5YR5/6	直線的な深い体部で、断面台形の低い高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転未切り。付高台。
1511	灰陶土器 高台付 椀形土器	底部片残存 高 (6.4cm)	埋没土	①黒細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5YR/1	わずかな丸みをもって、立ち上がる体部に三日月形の高台を付す。 外面 体部回転ナズ。底部回転未切り。高台接合部ナズ。 内面 体部～直線回転ナズ。
1512	須恵陶 鉢形土器	口縁～体部下位片残存 口 (19.4cm)	埋没土	①黒細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰N/6	丸みをもった体部から、外反する口縁部。 内外面 口縁部横ナズ。体部回転ナズ調整。
1508	須恵陶 高台付 長頸壺	体部中位～底部片残存 底 (10.0cm)	東 床面上3cm	①黒細砂・小礫を含む。 ②還元焼。一部酸化焼。 ③色白黄褐色10YR6/4	平底からやや膨らみをもって立ち上がる体部に至る。断面長方形の高台を付す。 外面 体部細くうねり成形。回転ナズ。底部未切り磨した後、ナズ調整。付高台。内面 体部～直線回転ナズ。
1510	土師陶 土師土器	口縁～体部上位片残存 口 (17.0cm)	埋没土	①黒細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③色2.5YR5/6	丸みをもった体部から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向磨削ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部上位横方向磨削ナズ。
1507	須恵陶 椀形土器	口縁下平～体部下位 片残存 高 35.0cm 底 71.0cm	中央部 床面上17.5cm	①黒細砂を含む。 ②還元焼。 ③色5Y5/1	やや目のあたる体部から、高く外反する口縁部に至る。体部中位はややへこみ。下位は膨らむ。 内外面 ナズ調整。タタキ目は残っていない。

I 区18号住居出土遺物観察表(金属器) 第30回

番号	部 種	長さ・幅 厚さ (cm)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M 6	鎌?		鉄	東中央部 床面上16cm	基部の残る基部と刀部中央部の破片。

I 区28号住居出土遺物観察表(土器) 第31回・PL12

番号	部 種	残 法 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器 形 ・ 整 形 の 特 徴
1513	土師陶 土師土器	口縁～体部上位片残存 口 (20.4cm)	電筒 床面上6.5cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③色白黄褐色5YR5/4	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向磨削ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部上位本端状工具による横方向磨削ナズ。
1514	土師陶 椀形土器	口縁～底部片残存 口 (18.8cm) 高 23.7cm 底 (6.6cm)	電筒 床面直上	①黒細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③色白黄褐色10YR5/4	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向磨削ナズ。下半部方向磨削ナズ。底部砂。内面 口縁部横ナズ。体部～直線横方向磨削ナズ。
1515	土師陶 椀形土器	口縁部破片 口 (20.0cm)	電筒 床面上5cm	①黒細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	膨らみをもった体部から、肥厚して短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナズ。体部上位ナズ。相押さえ。中位ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部上位横方向磨削ナズ。中位削いハケテ。

I 区31号住居出土遺物観察表(土器) 第32回・PL12

番号	部 種	残 法 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器 形 ・ 整 形 の 特 徴
1517	土師陶 高台付 鉢形土器	口縁～体部一部欠損 口 14.7cm 高 5.5cm 底 7.2cm	中央南寄り 床面直上	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色2.5YR/3	小さい平底から、大きく外反する体部に至る。体部は傾面が著しい。 外面 口縁部横ナズ。体部横方向磨削ナズ。上半ナズ調整。黒書「生」が残る。底部磨削後、付高台。内面 口縁部横ナズ。体部～底部磨削方向の傾かい磨削き。黒色処理。
1516	須恵陶 高台付 椀形土器	口縁～底部一部欠損 口 14.2cm 高 3.8cm 底 7.7cm	竈内 使用面上13cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③黄褐色10YR5/3	体部がわずかな丸みをもって、大きく外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転未切り。付高台。

I 区32号住居出土遺物観察表(土器) 第33回

番号	部 種	残 法 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器 形 ・ 整 形 の 特 徴
1518	土師陶 椀形土器	口縁部破片 口 (14.3cm)	電筒 床面上5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色2.5YR5/6	大きく開く体部から、さらに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナズ。体部縦方向磨削ナズ。 内面 口縁部横ナズ。横方向磨削ナズ。体部縦方向磨削ナズ。黒色処理。
1519	土師陶 台付 椀形土器	台部残存 高 6.6cm	埋没土	①黒細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③色白赤褐色5YR5/4	小さくハの字に開く台部。縁部の一部がへこんで変形している。 外面 台部横ナズ。縦部横ナズ。 内面 台部横ナズ。縦部横ナズ。

遺物観察表

I区33号住居出土遺物観察表(土器)第35図・PL13

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1248	土師器 杯形土器	口縁～底部欠損 口 12.4cm 高 3.2cm 底 7.5cm		貯蔵穴 底面上18cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化丸。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	平底から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に至る。口縁部はさらに外反し、底部は内側して内面は玉縁状を見せる。 外面 口縁部破ナデ。体部割ナデ。 内面 口縁部破ナデ。体部～底部平ナデ。
1249	土師器 杯形土器	口縁～底部欠損 口 (11.6cm) 高 3.4cm		貯蔵穴 底面上19cm	①微細砂を含む。 ②酸化丸。 ③にぶい橙7.5YR6/4	大きめの平底から、緩をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反する。外面 口縁部破ナデ。体部割ナデ。底部割ナデ。 内面 口縁部破ナデ。体部～底部平ナデ。
1250	須恵器 杯形土器	口縁～底部欠損 口 12.8cm 高 3.8cm 底 6.5cm		貯蔵穴内 底面上24cm	①微細砂・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化丸。 ③にぶい黄褐色10YR5/3	体部の強制的に外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。
1251	須恵器 甕形土器	横み欠損 口 9.3cm		北東隅 床面上16cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元丸。 ③MX5Y5/1	水平な天井部から、ゆるやかな体部に至り、垂直に下方に折れる。 内外面 口縁部破ナデ。体部回転ナデ。

I区33号住居出土遺物観察表(金属器)第35図・PL13

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M4	馬具 引手金具	13.0・2.5	鉄	貯蔵穴東端 床面上18cm	断面丸方形の棒状の軸に、内径1.3cmほどの環がつけられている。軸と角度をなしている ので手綱術の引手索と推定される。遊金に磨び、もう一方の端は欠損している。
M9	馬具 衝	15.2	鉄	貯蔵穴内 底面上24cm	中央の小環で結び二連の衝。一方の衝先端部の環は欠損している。
M10	馬具 鞍具	破片	鉄	埋没土	鞍具の屈曲部の破片。

I区35号住居出土遺物観察表(土器)第36図・PL14

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1254	土師器 杯形土器	口縁部欠損 口 (12.0cm) 高 3.1cm		南西 床面下5.5cm	①微細砂を少量含む。 ②還元丸。 ③橙5YR6/6	大きめの底部から、緩をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部はさらに外反してから内湾する。外面 口縁部破ナデ。体部割ナデ。底部割ナデ。 内面 口縁部破ナデ。体部～底部平ナデ。
1255	須恵器 杯形土器	口縁部欠損 口 12.0cm 高 3.3cm 底 7.8cm		南東部 床面下20cm	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化丸。 ③にぶい黄褐色10YR5/3	平底の底部から、わずかな膨らみをもって外反する体部に至る。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。周縁のみ回転割ナデ。
1256	須恵器 高台付 甕形土器	底部欠損 高台付 横み欠損 底 8.6cm		南西 床面上1.5cm	①微細砂・白色鉱物粒を含む ②還元丸。 ③5Y5/6/1	断面台形の高台を付す。 内外面 口縁部破ナデ。底部回転赤切り。無調整。付高台。底部内面に 三孔が穿たれている。
1252	土師器 甕形土器	口縁部欠損 口 9.3cm 高 7.5cm 底 3.9cm		南東 床面上2cm	①微細砂を含む。 ②還元丸。 ③橙5YR6/6	少しへこんだ平底から、算盤五形の体部。短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部破ナデ。頸部縦方向割ナデ。体部縦方向割ナデ。上半横方 向割ナデ。内面 口縁部破ナデ。体部縦方向割ナデ。
1253	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (21.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元丸。 ③明赤褐色5YR5/6	くすねた「コ」の字状を見せる。 外面 口縁部破ナデ。体部上位横方向割ナデ。 内面 口縁部破ナデ。体部上横方向割ナデ。

I区36号住居出土遺物観察表(土器)第37図・PL14

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1521	須恵器 須具	口縁部破片 口 (19.6cm)		西壁際 床面上1.5cm	①微細砂・小礫を含む。 ②還元丸。 ③灰白2.5Y5/2	やや内湾して立ち上がる口縁部。 内外面 口縁部破ナデ。
1560	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 12.3cm 高 3.6cm 底 6.8cm		西壁際 床面上1.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元丸。 ③にぶい黄褐色10YR5/3	小さめの平底から大きく外反する体部に至る。口縁部はやや直立気味。 外面 口縁部破ナデ。体部縦方向割ナデ。上半指ナデ。底部割ナデ。 内面 口縁部破ナデ。体部～底部平ナデ。
1520	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.8cm)		東前方 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元丸。 ③明赤褐色5YR5/6	体部の強制的に外反する。器内が厚い。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切りか?
1522	須恵器 高台付 甕形土器	底部・高台部欠損 高台付 横み欠損 底 6.9cm		中央部南西寄 床面上2cm	①微細砂を多く含む。 ②還元丸。 ③にぶい黄褐色10YR7/2	小形で体部にやや丸みをもり、縦く高い高台を付す。 外面 体部回転ナデ。底部切り難し技法不明。付高台。
1566	土師器 甕形土器	口縁～底部欠損 口 (23.4cm) 高 28.3cm 底 6.6cm		東左 床面上4cm	①細砂を多く含む。 ②還元丸。 ③明赤褐色5YR5/6	器内が厚く、口縁部がくすねた「コ」の字を見せる。 外面 口縁部破ナデ。体部中位縦方向割ナデ。下位斜方向割ナデ。上位 縦方向割ナデ。指部破片。底部破片。 内面 口縁部破ナデ。体部～底部縦方向割ナデ。



## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

I 区38号住居出土遺物観察表〈土器〉第38図・PL15

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1526	須恵系 高台付土器	口縁部破片 口 (20.0cm)		住居内Pの南 床面直上	①濃細砂を含む。 ②還元焰。 ③還元10YR6/1	天井部からゆるやかに屈曲する。内縁する短いカエリを付す。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。
1524	須恵系 杯形土器	口縁部下欠損 口 (13.2cm) 高 底 5.8cm	4.5cm	南東 床面上6cm	①濃細砂を含む。 ②還元焰。 ③還元2.5Y6/2	底径が小さく、やや体部が深い。口縁部は外反し、底部は肥厚する。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1525	須恵系 杯形土器	口縁一体部下欠損 口 (13.6cm) 高 底 5.4cm	4.5cm	住居内Pの南 床面上4.5cm	①濃細砂を含む。 ②還元焰。 ③還元2.5Y6/2	底径が小さく、体部中位が膨らんで、口縁部が外反する。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。底部回転未切り後、ナデ。

I 区38号住居出土遺物観察表〈石器〉第38図・PL15

番号	種	長さ (cm)	石 重さ(g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S152	砥石	7.6・4.0 1.65	砥石石 110.9		中央部 床面直上	上面・下面が使用されている。左側面には深い刻線が多く残る。一部が欠けている。完形。
S153	棒状機	12.8・6.1 2.9	閃緑岩 330		埋没土	扁平な棒状機。磨石な使用痕はない。一部欠損。

I 区39号住居出土遺物観察表〈土器〉第39図・PL15

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1528	須恵系 高台付 椀形土器	口縁一部欠損 口 (15.0cm) 高 底 (6.8cm)	6.1cm	南左 床面直上	①濃細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③還元N3/1	小さめの底部から、下位に少し膨らみをもつ深い体部に至る。口縁部は外反する。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1527	土師系 高台付 椀形土器	口縁一部欠損 口 14.9cm 高 底 7.6cm	6.7cm	南右 床面直上	①濃細砂・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③ 外) 黒N2/ (内) 黄橙10YR6/3	丸みをもつ体部で広く開いた高台を付す。 外面 口縁部横ナデ。体部前方内側削り。底部ナデ。付高台。 内面 口縁部横ナデ。体部へ高部横方向細かい磨石。内面黒色焼埋。

I 区45号住居出土遺物観察表〈土器〉第40図・PL16

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1545	須恵系 杯形土器	口縁一部欠損 口 (12.5cm) 高 底 (6.0cm)	3.5cm	埋没土	①濃細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③還元2.5Y6/2	中位に膨らみをもつ浅い体部。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1544	土師系 杯形土器	口縁一部欠損 口 (12.0cm) 高 底 8.3cm	3.4cm	埋没土	①濃細砂を含む。 ②還元焰。 ③還元5YR6/6	大きめの平底から、深い縁をもって外反する体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ、指押さえ。底部磨削り。 内面 口縁部横ナデ。体部へ底部丁寧ナデ。
1542	須恵系 高台付 椀形土器	口縁一部部下欠損 口 (14.9cm) 高 底 7.0cm	5.8cm	南東隅 床面上1.5cm	①濃細砂・細砂・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③還元5Y5/1	下位に丸みをもつ深い体部で、断面長方形の深い高台を付す。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1543	土師系 高台付 椀形土器	口縁一部中位欠損 口 11.4cm		埋没土	①濃細砂を含む。 ②還元焰。 ③明赤焼5YR5/6	丸みのある体部から直立し、上方で短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向内側削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向内側削り。

I 区46号住居出土遺物観察表〈土器〉第41図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1529	須恵系 杯形土器	口縁一部部下破片 口 (12.7cm)		甕内 使用面上3.5cm	①濃細砂を含む。 ②還元焰。 ③黄橙10YR6/4	体部下位に丸みをもって、口縁部が小さく外反する。底縁は小さいと思われ。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。
1530	須恵系 高台付 椀形土器	高部・高台部欠損 口 (7.4cm)		甕内 使用面直上	①濃細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③明黄橙10YR6/6	底部の丸い高台部を付ける。 外面 高部回転ナデ。 内面 高部回転ナデ。
1531	須恵系 高台付 椀形土器	高部・高台部欠損 口 7.0cm		甕内 使用面上3.5cm	①濃細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③黄橙10YR7/4	わずかに膨らみをもつ体部で、断面長方形の浅い高台を付す。 内外面 口縁部一体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1532	土師系 変形土器	口縁一部上破片 口 (19.3cm)		甕内 使用面上3.5cm	①濃細砂・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③明黄7.5YR5/6	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側削り。
1533	土師系 変形土器	口縁部破片 口 (22.0cm)		甕内 使用面上3.5cm	①砂粒・金質母片・石英粒を多く含む。 ②還元焰。 ③黄橙10YR7/2	やや内高する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向内側削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向内側削り。

遺物観察表

Ⅰ区46号住居出土遺物観察表（石器）第41回・PL16

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 重さ (g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S154	蔽石	14.8・6.9 4.85	725	磨瑠璃石	埋没土	やや扁平な棒状。うすくなった左側面から、小口の一端にかけて蔽打痕が残る。完存。

Ⅰ区53号住居出土遺物観察表（土器）第42回

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
S154	土師器 斐形土器	口縁～体部下位破片 口 (17.3cm)		竈前 床面上5.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③焼5YR4/6	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上位横・斜方向莖削り。内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向莖ナデ。

Ⅰ区53号住居出土遺物観察表（石器）第42回・PL17

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 重さ (g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S155	磨石 蔽石	14.3・7.9 3.0	370	磨瑠璃石安山岩	埋没土	扁平な円盤の上面に磨り面が残る。小口下縁と左側面に蔽打痕が残る。完存。
S156	蔽石	11.6・6.6 3.6	360	磨瑠璃石安山岩	埋没土	棒状の蔽石。小石に蔽打痕が残る。平欠。

Ⅰ区54号住居出土遺物観察表（土器）第43回

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
S156	煎豆器 杯形土器	口縁～体部下位片残存 口 (15.0cm)		南東 床面上4cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③灰黄2.5Y7/2	体部がわずかな丸みをもって大きく外反する。口縁部内面端部に面とり内外面 口縁部～体部回転ナデ。

Ⅰ区54号住居出土遺物観察表（石器）PL17

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 重さ (g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S157	棒状物	15.0・5.5 4.6	700	磨瑠璃石安山岩	埋没土	顕著な使用痕は認められないが、何らかの使用目的のために、住居内に持ちこまれたと考えられる。

Ⅰ区56号住居出土遺物観察表（土器）第44回・PL17

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
S150	煎豆器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (13.0cm) 高 底 (5.7cm)	3.7cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰N4/	底径が小さく、口縁部が外反する。内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
S151	土師器 杯形土器	口縁部片破片 口 (12.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③におい赤褐5YR5/3	大きめの底部から、横をもって直立して近く外反する体部に至る。口縁部はさらに外反して端部が内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部莖削り。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
S159	煎豆器 高台付 皿形土器	口縁部片欠損 口 13.6cm 高 底 6.2cm	3.4cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③灰白5Y7/1	体部がやや膨らみをもって開く。内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
S158	土師器 斐形土器	口縁部破片 口 (19.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼5YR6/6	口縁部下位と上位の屈曲が顕著な。外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向莖削り後、上端指ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向莖ナデ。
S157	土師器 斐形土器	口縁～体部中位片残存 口 (20.4cm)		北東隅 床面上4cm	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐2.5YR5/6	口縁部が一旦、やや直立して上位で外反する。体部の膨らみは小さい。外面 口縁部横ナデ。中位に一直の沈線が回る。体部上位横方向莖削り後、中位縦方向莖削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向莖ナデ後、縦方向指ナデ。

Ⅰ区56号住居出土遺物観察表（石器）第44回・PL17

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 重さ (g)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S159	砥石	11.6・8.0 6.9	550	磨瑠璃石安山岩	南東隅 床面上4cm	大形の砥石の小欠品。4面ともに使用されているが、上面および左面には蔽打痕が残る。
S160	円碑	7.9・7.4 2.6	235	頁岩	竈内	扁平な小形の円碑。顕著な使用痕は認められないが、縁に蔽打痕のような痕跡がある。完存。

Ⅰ区59号住居出土遺物観察表（土器）第46回・PL18

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
S159	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (13.2cm) 高	3.9cm	南東隅 床面上3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③におい赤褐5YR5/4	大きめの平底から、直立して近く外反する体部に至る。口縁部はさらに外反してから内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部莖削り。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1547	土師製 変形土器	口縁～体部上位1/4残存	口 (20.6cm)	竈左前 床面直上	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	丸みのある体部から直立して、上方で短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向内反り。
1546	土師製 変形土器	口縁～体部中央1/4残存	口 (21.0cm)	竈左前 床面直上	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸みのある体部から直立して、上方に短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半部方向内反り後、下半部方向内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向内反り。
1548	土師製 変形土器	頸部片～底部残存	胴 4.4cm 底 (10.4cm)	内壁 床面上3cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	胴部の膨らみが小さく、口縁部下位の屈曲が弱くなっている。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向内反り後、下半部方向内反り。底部内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部横方向内反り。

## I 区62号住居出土遺物観察表(土器) 第47図・PL18

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1275	土師製 杯形土器	口縁～底部一部欠損	口 (12.0cm) 高 3.0cm	埋没土	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明焼7.5YR5/6	大きめの平底から、直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1276	土師製 杯形土器	口縁～体部1/4欠損	口 (12.2cm) 高 2.6cm	南 床面上3cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	大きめの平底から、直立気味に外反する浅い体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部沿ナデ。底部内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1277	土師製 杯形土器	口縁～底部1/4残存	口 (12.4cm) 高 3.1cm	南壁隅 床面上21.5cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼5YR6/4	大きめの平底から、傾きをもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1278	土師製 杯形土器	完形	口 11.8cm 高 3.3cm	南壁隅 床面上10cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	やや膨らんだ平底から、傾きをもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反し、口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部沿ナデ。底部内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1280	須恵製 杯形土器	ほぼ完形	口 12.2cm 高 3.7cm 底 7.0cm	南 床面上2.5cm	①黒細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白2.5YR7/1	体部中に膨らみをもつ。 内外面 口縁部横ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1279	土師製 変形土器	口縁部破片	口 (18.7cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	膨らみのない胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。

## I 区62号住居出土遺物観察表(石器) 第47図・PL18

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 厚さ (cm)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S130	紡錘車	上径 3.8 下径 3.8 厚さ 1.9	紀伊岩(滑石質) 44.6	埋没土	台形の紡錘車。上面・下面の縁は丸くなっている。側面には、使用時の摩擦とみられる横方向の縦い溝縁がある。完成。

## I 区67号住居出土遺物観察表(土器) 第49図・PL19

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1554	須恵製 高台付 椀形土器	口縁～体部下位1/4欠損	口 13.2cm 高 5.0cm 底 6.3cm	埋没土	①黒細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③灰黄2.5Y7/2	小さな底部から、直線的な体部に至り、断面台形の低い高台が付く。 内外面 口縁部～体部回転糸切り。底面回転糸切り。付高台。
1550	土師製 変形土器	口縁～体部下位破片	口 (20.0cm)	竈内 使用面下11cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③改良黄10YR8/3	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部下位縦方向内反り後、上位横方向内反り。 内面 体部横方向内反り。
1553	土師製 変形土器	口縁～体部上位1/4残存	口 (19.0cm)	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向内反り後、下半部方向内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向内反り。
1552	土師製 変形土器	口縁～底部1/4残存	口 (19.3cm) 高 23.6cm 底 (5.6cm)	埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向内反り後、下半部方向内反り。上半部縦方向内反り。底部内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部木造玩具用上による横方向内反り。
1551	土師製 変形土器	口縁～体部中央1/4残存	口 (19.0cm)	貯蔵穴 床面直上	①黒細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。中央部に帯状の無調整部がある。体部上位斜方向内反り後、下半部方向内反り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向内反り。

遺物観察表

Ⅰ区67号住居出土遺物観察表（石器）第49図・PL19

番号	器種	長さ・幅 高さ (cm)	石 材	出土位置	形状・調整加工の特徴
S162	砥石	7.4・7.0 2.8	影狩野石安山の 2種	埋没土	扁平な石の小口の一端に縦打痕が残る。平欠。
S161	砥石	4.3・2.8 0.7	砥石石 15.7	埋没土	小形の砥石。先端部が欠損しているが、やや広がる形態と考えられる。完存端には直径8mmの孔が、奥端から穿たれて貫通している。

Ⅰ区73号住居出土遺物観察表（土器）第50図・PL19

番号	器種	技法 残法	容量 寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1567	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 19.6cm	内面 底面 6.0cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③焼5YR6/6	丸みのある体部から直立して、上位が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。中央部帯状に無調整部分が残る。体部中位斜方向 寛削り後、上位横方向寛削り。下位斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
1555	須惠器 高台付 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 (12.3cm) 高 4.8cm 底 (6.8cm)	埋没土	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③にぶい焼2.5YR6/4	わずかな丸みをもって、大きく外反する体部。やや小形。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。

Ⅰ区74号住居出土遺物観察表（土器）第51図・PL20

番号	器種	技法 残法	容量 寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1557	土師器 杯形土器	口縁～底部内残存 口 (12.0cm) 高 3.3cm 底 8.0cm	南西側 床面 上11cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼5YR6/6	大きめの平底から、鋭い縁をもって外反する体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1554	須惠器 杯形土器	口縁部内欠削 口 13.8cm 高 4.0cm 底 6.3cm	北東寄り 床面 上2.0cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白10YR/1	体部がやや深く、底径が小さい。 内外面 体部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1559	黒色土器 高台付 甕形土器	口縁～高台部内残存 口 (15.3cm) 高 5.7cm 底 6.5cm	北東寄り 床面 上10.5cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③にぶい黄緑10YR/7/3	小さな底部から、大きく外反する体部に至る。口縁部は外反する。付高台。 外面に「平」字書。外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。底部 回転糸切り。無調整。高台側面ナデ調整。 内面 口縁部～体部～底部横方向のいざ野磨り。黒色処理。
1556	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 19.8cm	南東寄り 床面 上11cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼5Y6/6	口縁部が一且直立して、上位で外反する。体部上位に最大径をもつ。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り後、下半部方向寛削り。下 平には指ナデが残る。内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。

Ⅰ区5号土坑出土遺物観察表（土器）第52図・PL21

番号	器種	技法 残法	容量 寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1560	須惠器 杯形土器	口縁～体部下位欠削 口 12.7cm 高 3.7cm 底 5.3cm	南東 床面 上5.0cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③焼5Y6/1	底径が小さく、やや内湾する小形の浅い体部から、肥厚する口唇部に至る。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1561	須惠器 杯形土器	口縁～体部下位欠削 口 (12.3cm) 高 3.5cm 底 5.4cm	南東 床面 上5.0cm	埋没土	①細砂を少量含む。 ②還元肌。 ③焼7.5Y6/1	底径が小さく、口縁部が外反する。 内外面 体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。

Ⅰ区39号土坑出土遺物観察表（土器）第53図・PL21

番号	器種	技法 残法	容量 寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1568	土師器 杯形土器	口縁～底部内残存 口 (12.1cm) 高 3.8cm 底 (6.0cm)	埋没土	埋没土	①微細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化肌。 ③にぶい黄緑10YR/7/4	小さめの平底から、大きく外反する体部に至る。口縁部は外反しやや肥厚する。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り後、上部のみ指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。一部に厚付着。体部～底部丁寧ナデ。

Ⅰ区10号土坑出土遺物観察表（土器）第54図・PL21

番号	器種	技法 残法	容量 寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1562	須惠器 杯形土器	口縁～体部下位欠削 口 14.3cm 高 4.2cm 底 6.3cm	埋没土	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③焼黄2.5Y7/3	底径が小さく、やや内湾の体部から、外反する口縁部に至る。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1563	須惠器 高台付 甕形土器	底部残存 底 7.3cm	埋没土	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③黄灰2.5Y6/1	体部が直線的に外反し、断面方形の闊いた高台を付す。 内外面 底部回転糸切り後、付高台。
1564	須惠器 高台付 甕形土器	底部破片・高台部欠削	埋没土	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰黄2.5Y7/2	丸みを持った体部。付高台。 外面 底部回転糸切り後、付高台。 内面 底部丁寧ナデ後、井桁状のマークが刻まれている。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

2区2号住居出土遺物観察表(土器)第56図

番号	器種	残存 状況	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1572	須恵窯* 高台付 椀形土器	■体部下位~高台部破片 底(8.0cm)		甕内 使用面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にじい黄褐色10YR7/4	直線的な体部に、細く高い高台を付す。 内外面 体部回転ナズ。底部切り離し技法不明。付高台。
1571	土師器 土師器 口(20.0cm)	□口縁部破片		東壁内 床面直上3.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR5/6	甕内が厚く、くずれた「コ」の字状の口縁部を呈する。 外側 口縁部横ナズ。体部斜方向寛ナズ。上縁直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部横方向寛ナズ。
1570	土師器 土師器 口(21.0cm)	□口縁部破片		甕内 使用面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部がくずれた「コ」の字状を見する。 外側 口縁部横ナズ。体部横方向寛ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部横方向寛ナズ。

2区5号住居出土遺物観察表(土器)第58図・PL22

番号	器種	残存 状況	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1574	土師器 杯形土器	□口縁部片残存	口(12.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にじい黄7.5YR6/3	大きめの平底から、梗をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は内湾する。外側 口縁部横ナズ。体部直ナズ。底部直ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部~底部丁寧ナズ。
1573	須恵窯* 高台付 杯形土器	□縁~底部片残存 口(17.5cm) 高 5.0cm 底(12.6cm)		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③灰褐色6YR4/2	平底の底部から直線的に外反し、内縁が緩やかに断面的な高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナズ。底部切り離し後、回転寛ナズ。付高台。

2区5号住居出土遺物観察表(石器)第58図・PL22

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石質 材質(※)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S163	輝石	13.7・5.9 3.9	粗粒輝石(雲山岩) 540	埋没土	顕著な使用痕は認められないが、何らかの使用目的のために、住居内に持ちこまれたと考えられる。
S166	磨石	13.0・7.2 3.2	粗粒輝石(雲山岩) 400	埋没土	上面に磨り面を残す。完存。
S167	磨石 磨石	11.7・7.7 3.45	閃緑岩 520	埋没土	扁平な石の両端が凹凸分割。上面のほぼ全面に磨り面が残る。小石の一端に縦打痕が直ス。完存。
S168	磨石 磨石	12.0・6.3 3.6	粗粒輝石(雲山岩) 400	埋没土	上面に磨り面、小口の一端に縦打痕が残る。完存。
S164	磨石	14.7・9.0 5.6	粗粒輝石(雲山岩) 120	埋没土	下面に広い磨り面が残る。上面の丸い縁の内側は黒く変色しており、床面に埋めて磨り面を使用した可能性もある。
S165	磨石	13.3・14.6 3.85	石炭質輝石 1200	埋没土	扁平な円盤の一面に縦打痕が残る。上・下面とも平滑面があるが、磨った痕跡は認められない。完存。

2区8号住居出土遺物観察表(土器)第60図・PL23

番号	器種	残存 状況	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1575	灰釉陶器* 高台付 椀形土器	□縁~底部片残存 口 14.4cm 高 4.4cm 底 6.6cm		南西壁際 床面直上3cm	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	中位に段をもつ体部から、直線的に外反する口縁部に至る。三日月形の高台を付す。斜り焼り施す。外側 口縁部横ナズ。体部回転ナズ。斜り焼り施す。底部回転ナズ調整。付高台。 内側 口縁部横ナズ。体部~底部回転ナズ調整。
1576	須恵窯* 高台付 椀形土器	□縁~体部片破片 口(17.0cm)		南西壁 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にじい黄褐色10YR7/2	高台部付直から、直線的に開く体部。 内外面 口縁部~体部回転ナズ。
1577	緑釉陶器* 高台付 皿形土器	□縁~高台部片残存 口(14.0cm) 高 3.1cm 底 6.0cm		北東隅 床面直上2cm	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③明灰10YR6/1	わずかな丸みをもつ体部から、外反する口縁部に至る。口縁部に、こぶ状の突起をついている。内外面、施釉。 内外面 口縁部~体部回転ナズ。底部ナズ調整。
1580	須恵窯* 別製	□口縁部破片 口(23.6cm)		埋没土	①微細砂・砂粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白2.5Y7/1	内湾する羽茎の口縁部。端部は厚く肥厚する。 内外面 口縁部横ナズ。

2区8号住居出土遺物観察表(石器)第60図・PL23

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石質 材質(※)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S169	磨石 磨石	22.0・7.8 4.5	閃緑岩 1100	北東隅 床面下6cm	やや巾が広く扁平な面。上面には、顕著な広い磨り面が残る。下面および両側縁に縦打痕がある。完存。
S170	磨石	9.5・7.2 3.8	粗粒輝石(雲山岩) 400	北東隅 床面下2cm	上面および下面の中央に、帯状に磨り面が残る。一部に炭化物付着。欠損面も黒く変色している。平文。
S171	磨石	9.7・8.1 3.4	粗粒輝石(雲山岩) 360	埋没土	右側面に縦打痕を残す。扁平な円盤。完存。

遺物観察表

2区9号住居出土遺物観察表〈土器〉第61図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1582	直立器 杯形土器	底部残存 底 6.5cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	体部下位に丸みをもって、口縁部が小さく外反する。 内外面 体部回転ナド。底部回転未切り。無調整。
1581	直立器 高台付 碗形土器	口縁～底部片残存 口(15.0cm) 高 5.6cm 底 7.4cm	電燈室部 床面直上		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤黄5YR5/6	わずかな丸みをもって、大きく外反する体部。低い高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナド。底部回転未切り。無調整。

2区13号住居出土遺物観察表〈土器〉第62図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1586	土師器 合付 碗形土器	口縁～体部上位破片 口(12.3cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③暗褐10YR3/4	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナド。体部上位斜方向変形。 内面 口縁部横ナド。体部上位横方向ナド。

2区13号住居出土遺物観察表〈石器〉第62図・PL24

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S172	礫石	7.5・4.9 3.2	礫石 172.1	貯蔵穴内 床面上3.5cm	半欠の礫石。上面および側面が使用されている。下面には、細い凹線が多数残る。

2区14号住居出土遺物観察表〈土器〉第64図・PL25

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1589	直立器 円錐形 土器	完形 長 4.6cm 幅 4.6cm 厚 1.1cm		北西壁寄り 床面直上	①細砂・白色鉱物粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰10Y4/1	直立器の大體を削ってつくったとみられる土製円錐。
1590	直立器 円錐形 土器	完形 長 6.9cm 幅 6.3cm 厚 1.2cm		北西壁寄り 床面直上	①細砂・白色鉱物粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰N/4	直立器の大體を削ってつくったとみられる土製円錐。
1591	直立器 円錐形 土器	完形 長 6.5cm 幅 7.0cm 厚 1.3cm		北西壁寄り 床面直上	①砂粒・白色鉱物粒を多く含む。 ②還元焼。 ③灰N/4	直立器の大體を削ってつくったとみられる土製円錐。
1587	土師器 腰形土器	口縁～体部中位残存 口 19.8cm	中央竈寄り 床面上3.5cm		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③濃い橙7.5YR7/4	丸みのある体部から直立して、上位で短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナド。体部上位斜方向変形。下半斜方向変形。 内面 口縁部横ナド。体部横方向変形。
1588	土師器 腰形土器	口縁～体部下位片残存 口 18.9cm	電灯 使用面直上		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。体部上位に最大径をもつ。 外面 口縁部横ナド。体部上位斜方向変形。下半斜方向変形。 内面 口縁部横ナド。体部横方向変形。

2区14号住居出土遺物観察表〈石器〉第64図・PL25

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S174	礫石	5.6・2.8 3.0	礫石 59.8	埋没土	断面三角形に使いこまれた礫石。先端部のみ残存。
S173	礫石	25.5・10.0 11.7	煎礫石 1370	北西壁寄り 床面上1.5cm	大形の礫石。四面とも使用しているが、うち3面には、由2～4cmほどの等径の曲面が確認できる。欠損部に近い部分には、4面のうち3面に縦打痕の凹みが多くあり、角も欠けている。端部尖鋭。

2区15号住居出土遺物観察表〈土器〉第65図・PL26

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1594	灰輪陶器 高台付 碗形土器	体部下位～高台部残存 底 7.3cm		北西隅 床面上5.5cm	①微細砂と少量の小粒を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y8/1	下位がややへこんだ体部。丸い三日月状の高台を付す。横け掛け施施。 外面 体部回転ナド。底部回転未切り。無調整。高台接合部回転ナド。
1592	灰輪陶器 高台付 碗形土器	口縁～底部片残存 口(16.3cm) 高 5.8cm 底 7.8cm	西壁隅 床面上4cm		①黒色鉱物粒を多く含む。小粒も混じっている。 ②還元焼。 ③灰白5Y8/1	体部にわずかな丸みをもって、口縁部が小さく外反し、三日月状の高台を付す。外面 口縁部横ナド。体部回転ナド。横け掛けによる施施。高台部回転未切り。付高台。 内面 口縁部横ナド。体部回転ナド。横け掛けによる調整。
1595	緑輪陶器 碗形土器	体部破片		中央部 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③暗黄10YR5/1	内外面 緑輪施施。
1593	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口(11.0cm) 高 3.7cm		北西隅 床面上5.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/6	尖り気味の丸底から、口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナド。体部～底部変形。口縁部下位は横ナド。 内面 口縁部横ナド。体部～底部丁字ナド。

## 2. 歴史時代後期の出土遺物

2区15号住居出土遺物観察表〈石器〉第65区・PL26

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 質 (頁)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S175	磨石	6.3・6.8 2.8	粗石 49.9	埋没土	下面に顕著な磨り面がみられる。完好。

2区16号住居出土遺物観察表〈土器〉第66区・PL26

番号	器種	形状	存在 位置	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1597	土師器 杯形土器	口縁部欠損 口 (13.0cm) 高 3.1cm	床面上	北東部 床面上8.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化赤。 ③明赤褐5YR6/6	大きめの平底から、直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部指押さえ、指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向ナデ。底部指ナデ。
1598	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.5cm) 高 4.0cm	埋没土		①微細砂を少量含む。 ②酸化赤。 ③明赤褐5YR5/4	大きめの平底から、膨らみをもって外反する深めの体部に至る。口縁部 はやや内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。指押さえ。底部 直削り。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1599	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (13.0cm)	埋没土		①夾雑物の少ない緻密な粘土 ②酸化赤。 ③明赤褐5YR6/6	平底からやや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は直立気味に 外反するが底部はやや内湾する。外面 口縁部横ナデ。横方向広い指押さえ。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ後、放射状磨き。直削りナデ。
1596	須恵器 甕形土器	口縁部破片 口 (45.0cm)	埋没土	北東部 床面上5.5cm	①微細砂を含む。白色鉱物粒 を多く含む。②還元赤。 ③暗灰N2/	大きく外反する甕形土器の口縁部破片。口縁部外面端部は鋭く垂下する。 外面 口縁部横ナデ。2条の波状文が施されている。 内面 口縁部横ナデ。

2区16号住居出土遺物観察表〈金属器〉第66区

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M13	刀子	8.1・1.2 0.4	鉄	埋没土	鋸身の刀子の刃部破片。刃部に残存。

2区18号住居出土遺物観察表〈土器〉第67区

番号	器種	形状	存在 位置	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1600	土師器 甕形土器	口縁～体部下位片残存 口 (18.0cm)	埋没土		①微細砂を少量含む。 ②酸化赤。 ③明赤褐5YR5/6	丸みそつ割縁上位から直立して短く外反する「コ」の字状の口縁部 に至る。外面 口縁部横ナデ。体部下位横方向直削り後、下半縦方向直 削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。

2区18号住居出土遺物観察表〈石器〉第67区・PL26

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 質 (頁)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S176	砥石	5.5・6.1 4.9	粗粒輝石安山岩 198.3	埋没土	側面の4面が使用された大形砥石の破片。内角が欠損している。

2区25号住居出土遺物観察表〈土器〉第69区・PL27

番号	器種	形状	存在 位置	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1601	土師器 甕形土器	口縁～体部下位片残存 口 (21.0cm)	埋没土		①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化赤。 ③明赤褐5YR5/3	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向直削り後、下半縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向丁寧ナデ。
1602	土師器 甕形土器	体部下位～底部残存 底 (5.4cm)	埋没土		①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化赤。 ③明赤褐5YR5/8	膨らみの少ない体部から、小さな砂底の底部に至る。 外面 体部下半縦方向直削り。底部砂底。 内面 体部下半横方向直ナデ。底部直削り。

2区27号住居出土遺物観察表〈土器〉第71区・PL27

番号	器種	形状	存在 位置	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1603	須恵器 杯形土器	ほぼ完形 口 12.0cm 高 3.8cm 底 5.8cm	床面上	南東 床面上	①微細砂・細砂を含む。 ②還元赤。 ③灰白2.5GY8/1	底径が小さく、小形になる。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1604	灰土陶器 碗形土器	口縁～体部下位破片 口 (13.0cm)	埋没土		①微細砂を含む。 ②還元赤。 ③灰3Y6/1	体部にわずかな膨らみをもって、口縁部が小さく外反する。横け掛け 無軸。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。

2区27号住居出土遺物観察表〈石器〉第71区・PL27

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 質 (頁)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S177	凹み石	7.9・7.1 4.4	粗粒輝石安山岩 320	埋没土	上面および下面、さらに側面に3か所ずつの凹みがある。磨痕による凹みとみられる。
S130	紡錘車	上径 1.2 下径 1.7	磨石 5.9	埋没土	台形の紡錘車の上半部破片。穿孔はやや中心からずれた位置にあり、上面を水平とすると やや斜方向である。側面には縦線による、渦巻の文様が付されている。

遺物観察表

2区29号住居出土遺物観察表〈土器〉第72図・PL29

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1610	黒色土器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 12.4cm 高 4.2cm 底 6.1cm		竈左前方 床面上20cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③④赤い黄緑10YR6/3	平底から、膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部に復付着。体部回転ナデ調整。底部控削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部横方向置ナデ。黒色処理されていたとみられるが部分的に色が抜けている。
1606	須恵系● 杯形土器	口縁～体部欠欠損 口 (12.0cm) 高 4.6cm 底 (6.0cm)		北部 床面上15cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③浅黄緑10YR8/3	小さめの平底からやや膨らんで、外反する口縁部に至る。やや深めの杯。外面に「休？」書痕。外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部左回転糸切り。無調整。内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。
1615	須恵系 杯形土器	口縁～底部欠欠損 口 12.9cm 高 4.1cm 底 6.2cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③④赤い黄7.5YR5/4	底径が小さく、体部はやや深い。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1607	須恵系 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.6cm) 高 3.8cm 底 6.5cm		北部 床面上18cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	底径がやや小さく、直線的でやや深い体部。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1613	土師器 高台付 椀形土器	口縁～高台部一部欠損 口 14.2cm 高 5.2cm 底 (7.4cm)		竈内 使用面上6.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	小さめの底部から、大きく外反する体部に至る。口縁部はやや外反する。新断面のやや高い高台を付す。外面 口縁部横ナデ。体部斜方向置削り後、上半部横ナデ。高台部縁合部指ナデ。底部砂底。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1609	須恵系● 高台付 椀形土器	口縁部欠欠損 口 13.4cm 高 5.1cm 底 7.7cm		竈左前方 床面上15cm	①微細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	体部がわずかな丸みをもって大きく外反する。三日月状の高台を付す。内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部切り離し後、何らかの調整を無し。付高台。
1608	灰輪陶器 高台付 椀形土器	口縁～高台部片残存 口 (16.6cm) 高 5.8cm 底 8.6cm		北東 床面上4.5cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	中位のややへこんだ体部から、小さく外反する口縁部に至る。三日月形の高台を付す。覆け掛け縁輪。 外面 口縁部横ナデ。体部上半部回転ナデ。下半部6枚置削り。底部回転ナデ。付高台。内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ調整。
1614	土師器 椀形土器	口縁～体部上位片残存 口 (20.6cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤黄5YR5/6	器内が厚く、やや体部に膨らみをもって、口縁部がくずれた「コ」の字を呈する。外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置ナデ。

2区35号住居出土遺物観察表〈土器〉第73図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1617	土師器 椀形土器	口縁部片残存 口 (20.6cm)		竈内 使用面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③灰黄緑10YR5/2	丸みをもつ胴部上位から直立して、上部が短く外反する口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部横方向置削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。
1616	土師器 椀形土器	口縁～体部中位片残存 口 (19.4cm)		竈左前方 床面直上	①微細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/6	丸みのある体部から直立して、短く外反する口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上半部方向置削り。下半部方向置削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。

2区40号住居出土遺物観察表〈石器〉第74図

番号	器種	長さ・幅厚さ (cm)	石重 (g)	材	出土位置	形状・調整加工の特徴
S179	磨石	4.2・4.1 1.6	粗粒砂岩(安山岩)49.4		埋没土	上面の一部に磨られたような平滑面が残る。半欠。
S178	敲石	11.5・6.3 2.4	粗粒砂岩(安山岩)310		埋没土	扁平な石の小口の側面に縦打痕が残る。充存。

2区42号住居出土遺物観察表〈土器〉第75図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1619	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 12.4cm		埋没土	①微細砂・褐色鉱物粒が目立 つ。②酸化焼。 ③明赤黄5YR5/6	大きめの平底から、外反する体部に至る。口縁部と体部の間には段があり、口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。
1620	須恵系 高台付 椀形土器	高台部片残存 高台付 底 (10.2cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	三日月状の高台。 外面 底部回転糸切り後、再縁輪転削り。付高台。 内面 高直ナデ。

2区43号住居出土遺物観察表〈土器〉第76図・PL30

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1624	黒色土器 杯形土器	体部中位～底部片残存 底 (6.1cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	小さめの平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 体部横方向丁寧ナデ。底部置ナデ。 内面 体部～底部横方向の置削り。黒色処理。
1622	土師器 高台付 椀形土器	口縁～体部中位片残存 口 (10.8cm)		東側 床面上11.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③④赤い黄7.5YR5/4	体部の膨らみは残るが、口縁部上位・下位の屈曲は弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向丁寧ナデ。



## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1623	土師器 白付 斐形土器	口縁～体部下位1/3残存	東南 床面直上	①濃緑砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR4/3	丸みをもつ体部から直立して、上位が短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。	
1621	土師器 斐形土器	口縁部破片 口 (18.0cm)	甕内 使用面上18cm	①濃緑砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色2.5YR4/8	膨らみをもった体部から、外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。	

## 2区43号住居出土遺物観察表(土器)第76図・PL30

番号	器種	高さ・幅 長さ (cm)	材質 [注]	出土位置	形状・調整加工の特徴
S180	磁石	16.2 × 4.3 4.4	粗粒輝石安山岩 579	埋没土	細い棒状の隅端に龍行痕が残る。完存。

## 2区44号住居出土遺物観察表(土器)第77図・PL30

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1627	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/3残存	口 (13.0cm) 高 3.9cm 底 (6.6cm)	埋没土	①濃緑砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③灰黄褐色10YR6/2	口径が小さく、やや深い体部。口縁部は外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1626	須恵器 高台付 三形土器	底部残存 高台付 底 (6.8cm)	甕内 使用面直上	①濃緑砂とわずかな小礫を含む。 ②酸化焼。 ③緑2.5YR6/6	扁平な体部で、開いた高台を付す。 内外側 体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。	
1625	土師器 白付 斐形土器	口縁部破片 口 (14.0cm)	甕内 使用面上13cm	①濃緑砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	口縁部下位と上位の屈曲が鋭くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。	

## 2区46号住居出土遺物観察表(土器)第79図・PL31

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1628	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/3残存	口 (12.2cm) 高 3.7cm 底 5.3cm	北壁際 床面上4.5cm	①濃緑砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5YR7/2	口径が小さく、小形化する。口縁部は外反し、端部はやや肥厚する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1634	須恵器 高台付 斐形土器	口縁～体部中央破片	口 (13.6cm)	甕内 床面直上	①濃緑砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	体部にわずかな丸みをもって、大きく口縁部が外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。
1636	灰釉陶器 椀形土器	口縁～体部下位破片	口 (14.8cm)	南壁際 床面上4.5cm	①灰白色磁物像焼成を含む。 ②還元焼。 ③緑5Y6/1	中位がややへこんだ体部から、小さく外反する口縁部に至る。濃け掛け 施施。外側 口縁部横ナデ。体部下位回転直ナデ。 内側 口縁部～体部回転ナデ。
1631	須恵器 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 高台付 底 (6.8cm)	北壁寄り 床面上2cm	①細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色10YR6/3	小形で体部が丸みをもり、細く高い高台を付す。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。	
1632	須恵器 高台付 椀形土器	口縁部一部欠損	口 14.1cm 高 5.6cm 底 7.7cm	北壁直上 床面上6.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③緑2.5YR6/6	下位にわずかな丸みをもって、直線的に外反する体部。うすく高い高台 を付す。外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。底部回転糸切り難 し。行高台。内側 口縁部横ナデ調整。
1633	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～底部1/3破片 高台部欠損	口 (15.8cm)	甕内 使用面上3.5 cm	①濃緑砂を多く含む。 ②還元焼。 ④明褐色2.5YR5/6	やや大形。体部に丸みをもり、口縁部が外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1635	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～高台部1/3破片 高台付 底 (5.8cm)	口 (12.6cm) 高 5.1cm	甕内 使用面直上	①濃緑砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ④明2.5YR6/6	体部にわずかな丸みをもって、大きく外反する。断面方形の低い高台 を付す。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部付高台。
1637	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～底部1/3残存 高台付 底 (7.0cm)	口 (14.0cm) 高 6.1cm 底 7.0cm	南東隅 床面上7cm	①濃緑砂を多く含む。 ②還元焼。 ④明5YR6/8	体部が直線的に外反する。やや高い開いた高台を付す。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。付高台。
1639	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～底部1/3残存 高台付 底 (7.4cm)	口 13.3cm 高 5.2cm	埋没土	①細砂と少量の小礫を含む。 ②還元焼。 ④明褐色10YR2/1	体部にわずかな丸みをもって、大きく外反する。端部の低い高台を付す。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1630	土師器 斐形土器	口縁部破片 口 (20.6cm)	甕内 使用面上3.5 cm	①細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色2.5YR7/4	甕内が厚く、体部に膨らみをもって短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。上端指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。一部ナデ。	
1629	土師器 斐形土器	口縁～体部中央破片 口 (21.4cm)	南東隅 床面上7.5cm	①濃緑砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ④明2.5YR6/6	甕内が厚く、胴部に膨らみをもって短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。上端指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向直ナデ。	
1628	灰釉陶器 斐形土器	体部中央破片	東壁直上 床面直上	①濃緑砂を含む。 ②還元焼。 ④明白10YR7/1	肩の直る体部中央破片。肩部下位の細い縦溝文が覆されている。 外側 体部下位でならべ、全面に施施。 内側 体部回転ナデ調整。胴部下位に胎が埋められている。	

遺物観察表

2区51号住居出土遺物観察表(土器)第81図・PL31

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1643	黒色土器 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 底(7.0cm)		中央やや西側 筈 床面直上	①微細砂・赤色黏土を少量含む。 ②酸化黒。 ③焼7.5YR/6	体部に丸みをもち、開いた高台を付す。 内外面 体部回転ナデ。内面に黒色地肌。底面回転ナデ。高台付。 高台。
1641	黒色土器 高台付 椀形土器	口縁～高台部同欠損 口(14.6cm)高 6.2cm 底(7.8cm)		北東側 床面直上	①金雲母薄片・褐色黏土を多く含む。 ②酸化黒。 ③赤い焼7.5YR6/4	体部にゆるい丸みをもち、ハの字に開く高い高台を付す。 外面 口縁部ナデ。体部回転ナデ。底面回転ナデ無調整か付高台。 内面 口縁部ナデ。体部黒色地肌。横方向細かい磨き。底面内側ハの字の磨き。
1642	灰輪陶器 高台付 椀形土器	口縁～高台部同残存 口 14.3cm 高 5.3cm 底 7.3cm		東壁際 床面上2cm	①少量の小礫・砂粒を含む。 ②還元肌。 ③灰白7.5Y7/1	体部に丸みをもち、外反する口縁部に至る。三日月形の高台を付す。 横け掛け軸。外面 口縁部ナデ。体部回転ナデ。下位回転ナデ。底面切り難し。付高台ナデ調整。 内面 口縁部ナデ。体部～底部回転ナデ調整。
1670	灰器 高台付 椀形土器	底部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白2.5Y7/1	底部内面に「中」の磨き。 外面 体部回転ナデ調整。底面回転ナデ。高台接合部ナデ調整。 内面 体部回転ナデ調整。
1640	土師器 変形土器	口縁～胴部中位同残存 口(21.3cm)		堀内 使用面上2cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化黒。 ③明赤焼5YR5/6	胴内が厚く、口縁部がすぐれた「コ」の字状を呈する。口縁外面端部は肥厚する。外面 口縁部ナデ。体部縦方向磨削。 内面 口縁部ナデ。体部横方向磨削。

2区51号住居出土遺物観察表(石器)第81図・PL31

番号	器種	高さ・幅 長さ (cm)	石 材 量 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S184	扁平磯	8.2・8.8 1.8	灰色安山岩 220	南壁寄り 床面直上	扁平な小形の磯。磨削な使用痕は認められないが、下端小口に打痕状の磨削がある。何らかの理由で、住居内に持ち込まれたものと考えられる。
S183	礫石	12.9・6.4 5.7	粗粒輝石安山岩 690	南壁際 床面直上	やや太い棒状磯。小口の一端に縦打痕が残る。文存。
S182	礫石 礫石	11.5・10.4 3.9	かこう岩 720	東壁寄り 床面直上	扁平な大形の円磯。やや厚くなった一端に縦打痕が残り、表面に方形に磨削部が残る。文存。
S185	円磯	8.7・9.3 7.4	滑岩質灰岩 865	南壁際 床面上1.5cm	磨削な使用痕はないが、部分的に平滑面や磨きがあり、何らかの目的で住居内に持ちこまれたと考えられる。平欠。

2区58号住居出土遺物観察表(土器)第82図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1644	土師器 変形土器	口縁～体部上位破片 口(21.6cm)		堀内 床面直上	①微細砂を少量含む。 ②酸化黒。 ③焼10YR/4	体部の膨らみ小さく、口縁部がすぐれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部ナデ。体部上位斜方向磨削。 内面 口縁部ナデ。体部上位横方向磨削。

2区66号住居出土遺物観察表(土器)第83図・PL33

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1297	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口(12.0cm)高 3.6cm 底 7.8cm		南部 床面上16.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化黒。 ③明赤焼2.5YR5/6	平直から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に至る。口縁部はさらに外反し、端部は内湾する。外面 口縁部ナデ。体部指ナデ。底部磨削。内面 口縁部ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1298	土師器 杯形土器	口縁～底部同残存 口(11.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化黒。 ③赤い焼7.5YR5/4	尖り気味の丸底から、口縁部は短く内湾する。 外面 口縁部ナデ。体部～底部横方向磨削後、口縁部下位磨削ナデ。 内面 口縁部ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1301	土師器 杯形土器	口縁～底部同残存 口(12.6cm)		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化黒。 ③焼5YR6/6	丸底から口縁部が強く凸出する。 外面 口縁部ナデ。体部～底部横方向磨削後、口縁部下位磨削ナデ。 内面 口縁部ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1303	灰器 高台付 杯形土器	口縁～底部破片 口(13.0cm)高 4.4cm 底(9.6cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰7.5Y/5	平直の底部から直線的に外反し、断面が形の高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底面回転ナデ。
1302	灰器 高台付 椀形土器	底部残存 底 8.0cm		南 床面上13cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元肌。 ③灰白10Y8/1	小さな直部から直線的に外反し、開いた高い高台を付す。 外面 底面回転ナデ。付高台。
1299	土師器 盤形土器	口縁～底部同残存 口(16.0cm)高 3.6cm		埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②酸化黒。 ③焼5YR6/8	体部の強い後縁から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部ナデ。底部磨削。内面 口縁部ナデ。底部丁寧ナデ。
1300	土師器 盤形土器	口縁部破片 口(18.0cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化黒。 ③明赤焼5YR5/8	平直気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部ナデ。底部磨削。内面 口縁部ナデ。底部丁寧ナデ。
1295	土師器 盤形土器	口縁～体部下位残存 口(20.5cm)		中央部 床面上9cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化黒。 ③明赤焼2.5YR5/6	体部の膨らみ小さくなり、口縁部上位・下位の屈曲も弱くなる。 外面 口縁部ナデ。体部上位横・斜方向磨削。中位縦方向磨削。内面 口縁部ナデ。体部横方向磨削。
1296	土師器 盤形土器	口縁～体部同残存 口(19.6cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化黒。 ③明赤焼2.5YR5/6	体部の膨らみ小さく、口縁部上位・下位の屈曲も弱くなる。 外面 口縁部ナデ。体部上位横方向磨削。中位縦方向磨削。内面 口縁部ナデ。体部横方向磨削。

2区61号住居出土遺物観察表(土器)第84図・PL32

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1646	土師器 埴形土器	口縁～体部上位破片		中央部 床面上11cm	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が一直直して上位で外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1645	土師器 埴形土器	口縁～体部下位片残存		東左前方 床面上16cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	体部の膨らみがやや小さく、口縁部上位と下位の屈曲が弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ、下位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。

2区70号住居出土遺物観察表(土器)第85図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1648	土師器 杯形土器	口縁片～底部残存		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	やや膨らんだ大きめの平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反する。口縁部はやや内湾。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1649	埴形土器 埴形土器	口縁～体部上位破片		埋没土	①藍色胎物微細粒を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y8/1	やや丸みのある体部から、大きく外反する口縁部に至る。内面のみ縁物を筋毛盛り施す。 内側 口縁部回転ナデ。 内内面 口縁部回転ナデ。
1647	須恵器 杯形土器	口縁～底部片残存		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③褐色10YR5/1	体部中位に膨らみをもつ。 内内面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転直ナデ。無調整。

2区71号住居出土遺物観察表(土器)第86図・PL34

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1650	須恵器 高台付 埴形土器	口縁部片・高台部欠損		電左袖端 床面上2.5cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化肌。 ③よい黄褐色10YR7/3	丸みをもつ。やや大形の体部。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転直ナデ。無調整。付高台。

2区72号住居出土遺物観察表(土器)第87図・PL34

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1652	須恵器 高台付 埴形土器	高台部残存		電内 使用面上9cm	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③褐色5YR4/4	うすく開いた高台部。 内外側 高台部回転ナデ。底部回転直ナデ。付高台。
1651	土師器 高台付 埴形土器	口縁～底部一部欠損・ 高台部欠損		中央南東寄り 床面上2.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③黄褐色10YR3/1	丸みのある体部から直して、上方で短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。下半横方向直ナデ。底部接合部ナデ調整。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。底部接合部ナデ調整。

2区74号住居出土遺物観察表(土器)第88図・PL34

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1657	灰釉陶器 高台付 埴形土器	口縁～高台部破片		埋没土	①白色胎物微細粒を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	中位にかすかな段をもつ体部から、小さく外反する口縁部に至る。断面台形の高台を付す。掛け掛け施す。内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転直ナデ。高台接合部ナデ調整。
1656	灰釉陶器 高台付 埴形土器	口縁～体部下位破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	中位のややへこんだ体部から小さく外反する口縁部に至る。掛け掛け施す。外側 口縁部横ナデ。体部上半回転ナデ。下半右回転直ナデ。 内側 体部回転ナデ。
1658	灰釉陶器 高台付 埴形土器	口縁～体部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	体部におよかな膨らみをもって口縁部が小さく外反する。掛け掛け施す。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。
1655	灰釉陶器 高台付 埴形土器	口縁～高台部片残存		埋没土	①少量の小礫と微細粒を含。②還元肌。 ③灰白N/1	体部におよかな膨らみをもって口縁部が大きく外反し、三日月状の高台を付す。浅い稜。 外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。掛け掛け施す。底部不明。付高台。 内側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。掛け掛け施す。底部回転ナデ調整。
1653	土師器 埴形土器	体部中位～底部片残存		中央北寄り 床面上17.5cm	①細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③明赤褐色5YR5/6	小さな平底から、膨らみのある体部に至る。 外側 体部縦・斜方向直ナデ。底部砂直ナデ。 内側 体部～底部横方向直ナデ。
1654	土師器 埴形土器	口縁～体部下位片残存		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③明赤褐色5YR5/6	器内が厚く、体部に膨らみをもって短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ、部分的に指ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位丁寧ナデ。下半横方向直ナデ。

遺物観察表

2区75号住居出土遺物観察表(土器)第90図・PL35

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴	
1305	土師器 杯形土器	光形		竈内 使用面上3cm	①微細砂を含む。白色灰物粒が目立つ。②酸化焼。 ③(内)黄緑10YR5/4	大きめの平底から、鋭い稜をもって外反する体部に至る。口縁部もやや外反する。外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部一部直ナデ。	
1306	土師器 杯形土器	口縁部欠欠削 口 11.6cm 高 3.2cm 底 8.1cm		南壁際 床面上4cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明緑10YR5/6	平底から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に至る。口縁部は内湾し内面縁部は直縁状。外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部一部直ナデ。	
1310	土師器 杯形土器	口縁一部片残存 口 12.0cm 高 3.3cm 底 8.4cm		中央南寄り 床面上1.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③(内)黄緑10YR5/4	大きめの平底から、鋭い稜をもって外反する体部に至る。口縁部は外反する。外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部一部直ナデ。	
1309	須恵器 杯形土器	口縁部欠欠削 口 12.6cm 高 3.6cm 底 7.0cm		南東寄り 床面上4cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	体部中央位にわずかな膨らみをもって外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。
1307	須恵器 杯形土器	口縁部欠欠削 口 13.3cm 高 3.6cm 底 7.4cm		北壁際 床面上3cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄緑2.5Y5/1 ④(内)赤褐5YR5/3	体部が直線的に外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。	
1308	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠削 口 12.7cm 高 3.4cm 底 7.0cm		東壁際 床面上5.5cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰N4/	体部が直線的に外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。	
1311	須恵器 蓋形土器	天弁～口縁部欠破片 口 21.0cm		東壁際 床面上12.3cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	水平な浅い体部から、垂直に折れる口縁部に至る。 内外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。	

2区75号住居出土遺物観察表(石器)第90図・PL35

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質 石重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S132	磨石	7.2・7.1 3.5	粗粒安山岩 215	埋没土	扁平な円碑。上面の中央部に磨り面が残る。片破片。

2区76号住居出土遺物観察表(土器)第91図・PL36

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1664	土師器 杯形土器	口縁一部欠破片 口 11.2cm 底 6.0cm		埋没土	①微細砂・細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	平底からやや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾する。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部一部直ナデ。
1662	灰釉陶器 高台付 杯形土器	口縁一部片残存 口 14.0cm 高 4.2cm 底 7.2cm		南西隅 床面上2cm	①夾雑物のほとんどない細密な胎土。②還元焼。 ③灰白10YR/1	底部から体部まで曲線的で曲面台の高台を付す。 外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。潰け掛け施施。底部調整不明。付高台。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。潰け掛け施施。底部回転ナデ。
1665	灰釉陶器 高台付 杯形土器	口縁一部欠破片 口 17.4cm 高 6.3cm 底 8.4cm		埋没土	①微細砂・黒色灰物粒を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	体部におおむね丸みをもって、口縁部は小さく外反し、三日月状の高台を付す。外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。潰け掛け施施。底部回転赤切り。付高台。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。潰け掛け施施。底部回転ナデ調整。
1660	灰釉陶器 杯形土器	口縁一部下位破片 口 17.0cm		北壁寄り 床面上直上	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	体部下位に丸みをも、口縁部は小さく外反する。潰け掛け施施。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。
1661	灰釉陶器 高台付 杯形土器	口縁一部片残存 口 13.6cm 高 4.2cm 底 7.3cm		中央南西寄り 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白2.5Y7/1	体部におおむね丸みをもって、口縁部が小さく外反し、三日月形の高台を付す。潰け掛け施施。 外側 口縁部横ナデ。体部右回転削り。底部回転削り(?)後、回転ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部一部回転ナデ調整。
1659	須恵器 羽釜	口縁一部中央位残存 口 19.8cm		南壁寄り 床面上直上	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③灰白は5Y8/2	最大径を口縁部にのみ。口縁部はやや内湾する。 外側 口縁部横ナデ。体部上平回転ナデ。下位縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。
1663	土師器 蓋形土器	口縁一部上位破片 口 20.0cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③(内)黄緑10YR7/3	蓋面が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部上横方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上横方向ハケム。

2区80号住居出土遺物観察表(土器)第92-93図・PL36

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1671	土師器 杯形土器	口縁一部片残存 口 13.6cm 底 6.0cm		南東隅 床面上6cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③(内)黄5YR6/6 (外)灰黄褐10YR5/2	平底から、丸く大きく外反する体部に至る。体部はやや深く、口縁部は内湾する。 外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部一部直ナデ調整。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1670	須恵器 高台付 椀形土器	口縁部与残存	2.9cm	東壁 床面上25.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	扁平な体部で、開いた高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1672	須恵器 高台付 椀形土器	口縁~底部与残存	7.0cm	南壁寄り 床面上14cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰白2.5Y7/1	底径が小さく、口縁部が外反する。断面台形の低い高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1673	須恵器 高台付 椀形土器	底部・高台部与残存	7.0cm	中央部寄り 床面直上	①微細砂とわずかな小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	底径が小さく、断面台形の高台を付す。 内外面 体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1674	須恵器 高台付 椀形土器	口縁~底部与残存 高台部欠損	7.8cm	西壁寄り 床面上14.5cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白2.5Y8/1	わずかな膨らみをもつ深い体部で、体のロクロが顕著。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1668	土師器 椀形土器	口縁~体部下位与残存	20.3cm	西壁寄り 床面上15.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色7YR5/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。胴部上位に最大径をもつ。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り後、下半部方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。
1669	土師器 椀形土器	口縁~体部中位与残存	19.0cm	中央部 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗7.5YR6/6	丸をもつ体部から直立して、小さく外反する口縁部に至る。器内はやや平し。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。
1667	土師器 椀形土器	口縁~底部与残存	17.4cm 高 24.8cm 底 4.4cm	西壁寄り 床面上9.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	器内が厚く口縁部がくづれた「コ」の字を呈する。体部は丸く底部は小さい。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り、中位斜方向下位縦方向削り、底部削り。内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削りナデ。
1666	土師器 椀形土器	口縁~体部下位与残存	17.8cm	竜光庵 使用面上21cm	①微細砂と褐色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい暗7.5YR5/3	体部の丸みは小さくなり、口縁部の上位・下位の屈曲は弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部下半部方向削り。上半部方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。

## 2区86号住居出土遺物観察表(土器)第94図・PL37

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1691	須恵器 椀形土器	口縁~底部与残存	4.3cm	南東壁 床面上2.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼? ③灰白5Y7/1	底径が小さく、やや深い体部。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1675	土師器 椀形土器	口縁~体部中位与残存	18.8cm	電燈消先端 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③暗5YR5/6	丸みのある体部から直立して、小さく外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。下半部方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。
1676	土師器 椀形土器	口縁~体部上位与残存	20.2cm	堀内 使用面上11cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	体部の膨らみが小さく、口縁部上位と上位の屈曲が弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削りナデ。
1677	土師器 椀形土器	口縁~体部中位破片	18.8cm	堀石袖 使用面上12cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。上半部方向削り、下半部方向削り。内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。
1678	土師器 椀形土器	口縁~体部中位与残存	19.0cm	堀石袖 使用面上12cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	丸みのある体部から直立して、短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り後、中位縦方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。
1679	土師器 椀形土器	口縁~体部中位与破片	21.6cm	堀石袖 使用面上12cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR6/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り後、中位縦方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向削りナデ。

## 2区87号住居出土遺物観察表(土器)第96図・PL37

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1688	須恵器 椀形土器	ほぼ完成	12.6cm 高 3.7cm 底 6.1cm	中央 床面上3.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③黒褐色5YR3/1	体部が直線的に外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1681	須恵器 羽釜	口縁~体部中位破片	22.0cm	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	やや丸い体部に、内湾・肥厚する口縁部がつく。 外側 口縁部横ナデ。体部上半部回転ナデ調整。下半部ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。

## 2区92号住居出土遺物観察表(土器)第98図・PL38

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1689	土師器 椀形土器	口縁~体部破片	12.4cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③暗5YR6/6	平縁から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し、内面端部は玉縁状の縁をもつ。外側 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部削り。内側 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1688	須恵器 高台付 椀形土器	体部下位~高台部与残存	7.2cm	中央部 床面上15cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③黒灰10YR5/1	小さな直縁から、直線的な体部に至り、断面台形の高台を付す。 内外面 体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。

遺物観察表

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1690	甕形土器 甕形土器	口縁～底部片破片 口 (14.7cm) 高 底 (7.0cm)	2.7cm	埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③灰青5YR/1	体部は直線的で口縁部が水平に開く。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転糸切り。無調整。
1683	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 17.0cm		中央部 灰面直上	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向見割り。下半縦方向見割り。 内面 口縁部横ナズ。体部横方向見割り。
1685	土師器 甕形土器	口縁～体部下位片残存 口 (19.3cm)		西壁際 床面上 9 cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐2.5YR5/8	丸みをもつ体部から直立して、短く外反する口縁部に来る。 外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向見割り後、下半縦方向見割り。 内面 口縁部横ナズ。体部横方向見割り。
1684	土師器 甕形土器	口縁～体部下位破片 口 (21.4cm)		甕内 床面上 4 cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	丸みをもつ割出上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の 口縁部に来る。外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向見割り後、下半 縦方向見割り。内面 口縁部横ナズ。体部横方向見割り。
1687	土師器 甕形土器	体部下位～底部残存 底 4.0cm		甕内 床面上 4 cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③赤い赤褐5YR5/4	やや厚みだ小さな甕部から、少し膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 体部下位縦方向見割り。底部置割り。 内面 体部下位～底部横方向見割り。
1686	土師器 甕形土器	体部中位～底部残存 底 3.8cm		甕右輪脇 床面上 7.5cm	①微細砂・棕色粘物を含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	小さな平直から、少し膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 体部下位下半縦方向見割り。底部置割り。 内面 体部下位～底部横方向見割り。

2区93号住居出土遺物観察表(土器)第98図・PL38

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1694	甕形土器 甕形土器	口縁部破片		埋没土	①細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③灰黄2.5Y7/2	体部上位面に「王」の墨書。 内外面 口縁部回転ナズ調整。
1693	甕形土器 高台付 甕形土器	体部下位～底部片残存 底 (8.0cm)		甕右輪 使用面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③灰黄2.5Y6/2	丸みをもつやや大形の体部に開いた高台を付す。 内外面 体部回転ナズ。底部回転糸切り。無調整。
1692	甕形土器 羽釜	口縁～体部上位破片 口 (19.8cm)		東壁寄り 床面上 2 cm	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焼。体部置割り。 ③灰白N7/	やや内湾する口縁部。甕上方に立ち上る唇がつく。 内外面 口縁部横ナズ。体部回転ナズ調整。

2区96号住居出土遺物観察表(土器)第101図・PL39

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1697	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (13.2cm) 高 底 5.8cm	3.9cm	南東戸内 灰面直上	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐2.5YR5/6	小さな甕部から、大きく外反する体部に至る。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナズ。体部斜方向見割り。上部置ナズ。底部置割り。 内面 口縁部横ナズ。体部～底部丁寧ナズ。
1696	甕形土器 杯形土器	口縁～体部片欠割 口 (12.6cm) 高 底 6.4cm	3.4cm	甕内 使用面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰N4/	短球が小さく、口縁部が外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転糸切り。無調整。
1685	土師器 甕形土器	口縁～体部下位片残存 口 (19.2cm)		西壁際 床面上 3 cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③赤い褐7.5YR6/3	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の傾角が異なる。 外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向見割り後、下半縦方向見割り。 内面 口縁部横ナズ。体部横方向見割りによる置ナズ。

2区98号住居出土遺物観察表(土器)第102図・PL39

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1701	甕形土器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.8cm) 高 底 ( 5.5cm)	3.5cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰N5/	短球が小さく、小形の杯。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転糸切り。無調整。
1699	甕形土器 高台付 甕形土器	体部下位～底部残存 高台部欠割		西壁付足 床面上 6.3cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	体部が直線的に外反する。 内外面 体部回転ナズ。底部回転糸切り。無調整。付高台。
1698	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口 (20.0cm)		中央寄り 床面上 3 cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の傾角が異なる。 外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向見割り。上部押さえ。 内面 口縁部横ナズ。体部横方向見割り。
1700	土師器 紡輪車	完整 上径 6.7cm 下径 6.7cm 厚 1.2cm		南壁際 床面上 3 cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐2.5YR5/6	うすい円筒状の紡輪車。上面の孔の周囲は、使用による割離がみられる。

2区99号住居出土遺物観察表(土器)第104・105図・PL41

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1713	土師器 杯形土器	口縁～体部下位片残存 口(14.0cm)		埋没土	①黒砂・炭粉砂を含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	平底から膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は大きく外反してから内湾する。外面 口縁部横ナデ。横ナデの広は広い。体部下半部削り肌、上半部ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部下ナデ、放射状の遺跡有。
1714	土師器 杯形土器	口縁部破片 口(14.0cm)		埋没土	①黒砂・砂粒を含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR5/3	平底から、膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は大きく外反してから内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部下半部削り肌、上半部ナデに、口縁部横ナデ。体部下ナデ、放射状の遺跡有。
1715	土師器 杯形土器	口縁部破片 口(13.8cm)		埋没土	①黒砂砂を少量含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	平底から、膨らみをもって外反する口縁部に至る。口縁部は大きく外反してから内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部下半部削り肌、上半部ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部下ナデ、放射状の遺跡有。
1716	土師器 杯形土器	口縁～体部片残存 口(12.4cm)		埋没土	①黒砂砂を少量含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR6/4	平底から、膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し、内面底部は玉縁状。外面 口縁部横ナデ。体部下ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部下底平直ナデ。
1717	須恵器 杯形土器	完形 口 12.6cm 高 3.3cm 底 5.8cm	南壁際 床面上5.5cm	①黒砂砂・小粒を含む。 ②還元肌。 ③灰N/4	直線的で浅い体部をもつ。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。	
1711	須恵器 高台付 皿形土器	口縁部片欠損 口 12.3cm 高 2.4cm 底 7.0cm	北東壁際 床面直上	①黒砂砂・細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③5Y6/7	扁平な体部で開いた高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ調整。底部回転未切り?付高台。	
1718	須恵器 長頸 壺形土器	底部残存 底 9.0cm	東壁付近北寄 床面上1.5cm	①黒砂砂・細砂を含む。 ②還元肌。 ③暗褐色5YR3/4	内外面 断面長方形の高台を付す東寄土器の底部。自然輪が著しく、外面も茶褐色に変色している。底部内面の自然輪の範囲はせまく、長頸壺になると認められる。	
1708	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～体部片欠損 口(14.4cm) 高 6.0cm 底 8.2cm	東壁際南寄り 床面上3cm	①黒砂・褐色小粒を多く含む。 ②還元肌。 ③(内) 赤褐色5YR7/4 (外) 灰10Y6/1	体部がやや丸みをもって断面高台の低い高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。	
1709	須恵器 高台付 椀形土器	底部破片 床面上7.2cm	電気輪郭 床面上3.5cm	①黒砂砂を多く含む。 ②還元肌。 ③5Y6/1	下位に丸みをもつ深い体部で、断面長方形の低い高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。	
1705	土師器 壺形土器	口縁～体部上位片残存 口(19.4cm)	中央西寄り 床面上3cm	①黒砂砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR6/4	丸みをもつ体部から直立して、短く上方で外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位側方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位側方向削り。	
1712	土師器 壺形土器	口縁～体部下位片残存 口(20.4cm)	埋没土	①黒砂砂・細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	丸みをもつ体部から直立して、小さく外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位側方向削り肌、下位側方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。	
1703	土師器 壺形土器	口縁～体部中位片残存 口(18.8cm)	西壁付近 床面上20cm	①黒砂砂・細砂を含む。赤色 鉱物粒を含む。②酸化肌。 ③赤褐色5YR4/6	丸みをもつ体部から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上位側方向削り肌、下半部削り肌。内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。	
1702	土師器 壺形土器	口縁～体部下位片残存 口(20.4cm)	内壁付近 床面上20cm	①黒砂砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR5/4	体部の膨らみは大きい。口縁部下位の傾斜が弱くなっている。 外面 口縁部横ナデ。体部上位側方向削り肌、中位～下位側・縦方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。	
1704	土師器 壺形土器	口縁～体部片残存 口(19.8cm)	中央西寄り 床面上10.5cm	①黒砂砂・細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR6/4	丸みをもつ体部から直立して、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位側方向削り、中位～下位側方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。	
1706	土師器 壺形土器	体部下位～底部残存 底 4.5cm	南壁際 床面上12.5cm	①黒砂砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明赤褐色5YR5/6	小さな平底から、直線的に外反する体部に至る。 外面 体部下位側方向削り。 内面 体部下位側方向削り。	

2区99号住居出土遺物観察表(石器)第105図・PL41

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	材質 石重(k)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S186	紡錘車	上径 3.9 下径 3.0 厚さ 2.1	砥石石 46.1	南壁際 床面直上	台形の紡錘車。上・下・側面とも平滑につくられており、中央に孔が貫通する。上層には平行な溝痕が一部にみられる。孔の周囲は、磨打状の使用痕がみられる。断面は、多角状にゆるい面と角とをとり、その平面上に「大」の痕跡が4か所に見られる。上縁の一部に欠損がある。下面は平滑で、孔周囲の使用痕はほとんどない。完形。
S187	磨石	1.6・1.6 0.8	石英 3.3	南壁際 床面直上	隅丸三角形のやや扁平な、顕著な整形痕は認められないが、つるつるしている。完形。

2区100号住居出土遺物観察表(土器)第107図・PL42

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1717	須恵器 高台付 椀形土器	口縁部片残存 口(13.6cm) 高 5.3cm 底(6.2cm)		中央北東寄り 床面上5.5cm	①黒砂砂・細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③灰白2.5Y8/1	浅い体部が直線的に外反し、開いた高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。

遺物観察表

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1720	直立器 高台付 椀形土器	口縁～体部欠破 口 (14.4cm) 高 底 6.4cm	5.0cm	埋没土	①胎砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	体部がわずかな丸みをもって大きく外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1722	灰釉陶器 高台付 椀形土器	口 (15.8cm) 高 底 (7.0cm)	5.2cm	埋没土	①胎砂を少量含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	体部がわずかな丸みをもって、口縁部が小さく外反し三日月状の高台を付す。外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。蓋け掛け施施。底部回転未切り。付高台。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。蓋け掛け施施。底部回転ナデ調整。
1721	灰釉陶器 椀形土器	口縁～体部下位破片 口 (16.0cm)		埋没土	①胎砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白7.5Y7/1	体部がわずかな丸みをもって、口縁部が小さく外反する。内外面、刷毛施り施施。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。
1718	土器 椀形土器	口縁～体部欠残存 口 (19.2cm)		埋没土	①胎砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③灰5YR6/6	丸みのある体部から直立して、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置り後、下半縦方向置り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向置ナデ。
1719	土器 土器	口縁部破片 口 (20.6cm)		埋没土	①胎砂・礫砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向置ナデ。
1723	灰釉陶器 椀形土器	把手破片		埋没土	①褐色胎砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白2.5Y7/1	表面に施施。

2区100号住居出土遺物観察表(石器)第107図・PL42

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 き (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S190	砥石	10.8・9.5 4.0	粗粒輝石安山岩 550	埋没土	円盤の上面に2本の溝状に研削痕がある。半欠。
S188	砥石	8.5・3.9 3.9	粗粒輝石 114.4	埋没土	上面・下面が使用された砥石。下端欠損。
S189	板状 石製品	3.6・4.7 5.5	注青粘板岩 11.9	埋没土	薄い板状の割片の2辺を整形して形づけている。表面・裏面ともに磨かれている。半欠。

2区101号住居出土遺物観察表(土器)第108図・PL43

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1725	直立器 杯形土器	完形 口 13.0cm 高 底 6.5cm	3.9cm	東壁付近 床面上3.5cm	①胎砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰白10Y7/1	直線的に開く体部から、外反しない口縁部に至る。外面に「天？」の墨書。外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ。
1726	直立器 杯形土器	口縁～底部欠破片 口 (15.0cm) 高 底 (9.8cm)	3.3cm	東左前 床面上4cm	①胎砂・礫砂を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	浅い体部で、やや内湾する口縁部に至る。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。
1724	灰釉陶器 耳面形 土器	ほぼ完形 口 11.0cm 高 底 5.0cm	3.1cm	東右前 床面上14.5cm	①胎砂を少量含む。 ②還元焼。 ③灰N6/	おしあげられた口縁部は、波状に開いており、残った口縁部は上面に巾広の面をとる。内外面、刷毛施り施施。 外面 底部回転未切り。無調整。

2区103号住居出土遺物観察表(土器)第109図・PL43

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1729	灰釉陶器 皿形土器	口縁～高台部破片 口 (13.3cm) 高 底 (7.7cm)	2.3cm	貯蔵穴西脇 床面直上	①胎砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白2.5Y8/1	わずかな丸みをもつ体部から、小さく外反する口縁部に至る。断面台形の 高台を付す。蓋け掛け施施。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り施し。
1728	直立器 高台付 椀形土器	口縁部一部欠破 口 12.2cm 高 底 7.6cm	5.1cm	室内 使用面直上	①胎砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR7/2	小形で体部がわずかな丸みをもって大きく外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1727	土器 椀形土器	口縁～体部上位破片 口 (18.2cm)		室内 使用面上8cm	①胎砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼5YR5/6	額内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向置ナデ。

2区1号壘穴出土遺物観察表(土器)第110図・PL43

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1735	直立器 皿形土器	口縁部破片 口 (15.8cm)		埋没土	①胎砂を多く含む。 ②酸化焼 ③灰黄2.5Y7/2	水平な天井部から、緩やかに湾曲する体部を経て口縁部に内傾する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。天井部回転未施り。
1733	直立器 高台付 杯形土器	口縁部一部欠破 口 (12.2cm) 高 底 7.7cm	4.1cm	東東部 床面上14cm	①胎砂・褐色胎砂を少量 含む。②還元焼。 ③灰5Y6/1	浅い体部が直線的に外反し、開いた高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。



## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1734	土師器 壺形土器	口縁部破片 口 (23.0cm)	埋没土		①黒細砂を含む。 ②酸化焰。 ③黄5YR5/6	丸みをもつ上部上から直立して、上位が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。上部上縁方内側ナデ。 内面 口縁部横ナデ。上部上縁方内側ナデ。

## 5区1号住居出土遺物観察表(土器)第112図・PL44

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1349	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 12.9cm 高 2.9cm	東階 床面上5.5cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	大きめの平底から、直立に近く外反する浅い体部に至る。口縁部は外反する。外面 口縁部横ナデ。底部平ナデ。底部覆削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。	
1350	土師器 杯形土器	口縁部欠損 口 (13.0cm) 高 3.1cm	東階 床面上5.5cm	①黒細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐10YR5/4	大きめの平底から、稜をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反する。外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部覆削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。	
1351	土師器 杯形土器	口縁~底部片残存 口 12.4cm 高 3.1cm	東階 床面上5.5cm	①黒細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	大きめの平底から、稜をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反する。外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部覆削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。	
1421	土師器 杯形土器	口縁部~底部片残存 口 (12.4cm) 高 3.3cm	南壁階 床面上20cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焰。 ③黄10YR5/4	大きめの平底から、稜をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部覆削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。	
1352	須恵器 高台付投 蓋形土器	底部破片 底 (8.9cm)	東階 床面上8.5cm	①細砂・小礫・黒色鉱物微塵 粒を含む。②還元焰。 ③灰N6/	内面下位に段をもつ。 内外面 体部回転ナデ。底部回転切り後、角縁回転削り。付高台。	
1353	須恵器 高台付 碗形土器	底部残存 底 (11.9cm)	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焰。 ③(外) 灰N4/ (内) 灰12.5Y7/1	体部下位に陥らみをもち、ハの字に大きく開く高台を付す。 外面 底部回転未切り。角縁ナデ。付高台。	
1425	須恵器 四面碗	上部片残存 高 (16.4cm)	南壁階 床面上16cm	①黒細砂・黒色鉱物粒を多く 含む。②還元焰。 ③灰N5/	上部は四方に方角があり、その間は縁割りで5等分されている。縁割りは 含む。	
1348	土師器 壺形土器	口縁~体部中位破片 口 (21.4cm)	貯蔵穴階 床面上1.5cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が一旦直立して、上位で外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上縁方内側削り後、下半方内側削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方内側ナデ。	
1347	土師器 壺形土器	口縁~体部中位破片 口 (20.6cm)	中央北 床面上7cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	丸みをもつ上部上から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の 口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上縁方内側削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方内側ナデ。	

## 5区1号住居出土遺物観察表(石器)第112図・PL44

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石質・材 質 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S139	砥石	4.6・3.9 4.0	砥沢石 55.2	埋没土	上面のみが使用されている砥石の破片。

## 5区6号住居出土遺物観察表(土器)第113図・PL45

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1738	土師器 蓋形土器	横み部破片	埋没土		①黒細砂を含む。 ②酸化焰。 ③黄10YR5/4	断面長方形の横み。 外面 ナデ調整。 内面 ナデ調整。黒色処理。
1737	土師器 杯形土器	完形 口 12.3cm 高 3.3cm 底 7.6cm	竈前 床面直上	①微塵黒色鉱物粒が目立 つ。②還元焰。 ③黄10YR5/4	平底からやや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。指押しえ。底部覆削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。	
1736	須恵器 高台付 碗形土器	口縁部欠損 口 12.6cm 高 2.7cm 底 6.8cm	竈前 床面直上	①黒細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y7/1	浅い体部が直線的に外反し、開いた高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。	
1736	土師器 台付 壺形土器	口縁~体部中位破片 口 (12.6cm)	竈内 使用面上5cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焰。 ③黄10YR5/4	丸みのある体部から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁 部に至る。外面 口縁部横ナデ。体部上縁方内側削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上縁方内側ナデ。	

## 5区9号住居出土遺物観察表(土器)第114図・PL45

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1744	土師器 杯形土器	口縁~体部片残存 口 (12.6cm)	埋没土		①黒細砂を含む。 ②酸化焰。 ③黄5YR5/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し内 面端部は玉縁状。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。指押しえ。底部 覆削り。内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧ナデ。
1743	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 (12.0cm) 高 3.4cm 底 7.0cm	埋没土		①黒細砂を含む。 ②還元焰。 ③明赤N3/0	体部が直線的に外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。

遺物観察表

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1711	須恵器 杯形土器	口縁～体部分残存 口 (12.7cm) 高 底 6.0cm	3.3cm	竈内 使用面上7.5cm	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰N5/	体部中に膨らみをもつ。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1712	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～高台部残存 口 (15.2cm) 高 底 (8.0cm)	6.9cm	埋没土	①砂粒・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③(内) 灰白5Y7/1 (外) 灰N6/	小さな底部から直線的な体部に至り、断面台形の小な高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1740	土師器 壺形土器	口縁～体部一部欠損 口 (20.2cm) 高 底 3.7cm	27.9cm	竈内 使用面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③明赤褐色5YR5/6	小さな平底から立ち上がり、膨らみのある体部上位から直立し、上方で外反する口縁部に至る。外面 口縁部横ナデ。上平部と中位に2段の無調整帯が残る。体部上位横方向直列。下平部方向直列。底部残存。内面 口縁部横ナデ。体部横方向直列ナデ。底部ナデ。

5区11号住居出土遺物観察表(土器)第115図・PL45

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
862	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 11.8cm 高 底 8.0cm	3.4cm	北壁寄り 床面上13.5cm	①直徑1～5mmの砂粒・雲母母片を多く含む。②還元焰。 ③赤褐色5YR6/4	平底。杯部中位は指で押さえ形づくりられ、口縁部は丸く肥厚し、内湾する。外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部一方直列。内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部ナデ。指頭残存。
1748	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 (12.7cm) 高 底 8.7cm	3.6cm	中央東寄り 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰N5/	やや底径が小さく、直線的に外反する体部。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1747	須恵器 杯形土器	口縁～体部欠損 口 (13.4cm) 高 底 7.3cm	3.6cm	中央北寄り 床面上2cm	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y6/2	体部中位に膨らみをもつ。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り後、周縁ナデ。
1749	土師器 台付 壺形土器	口縁部片破片 口 (10.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が一旦直立して、上位で外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直列。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ナデ。
1746	土師器 台付 壺形土器	台部残存 底 8.0cm		中央北寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③赤褐色5YR5/4	ハの字に開く体部。 外面 台部横ナデ。底部横ナデ。 内面 台部指ナデ。底部横ナデ。

6区3号住居出土遺物観察表(土器)第117図・PL46

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1759	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (12.0cm)		南東隅 床面上9cm	①細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③赤褐色5YR4/8	大きめの平底から外反する体部に至る。口縁部と体部の間には段があり、口縁部は内湾する。内面底部は玉縁状。外面 口縁部横ナデ。体部指押さえ。底部直列か? 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1755	須恵器 杯形土器	ほぼ完形 口 12.6cm 高 底 6.7cm	3.7cm	西西隅 使用直上	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2	底径が小さく、口縁部が外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整。
1756	須恵器 高台付 杯形土器	口縁～体部分残存 口 14.4cm 高 底 6.3cm	4.9cm	南東隅 床面上4cm	①細砂と少量の小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y6/2	小さな底部から、わずかに丸みをもった体部に至り、端部の丸い高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1757	須恵器 高台付 椀形土器	口縁部一部欠損 口 14.9cm 高 底 7.1cm	6.1cm	貯蔵穴内 底面直上	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③明赤褐色10YR6/6	わずかな膨らみをもつ深い体部で、断面方形の高台を付す。体部に口縁が顕著。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1758	須恵器 高台付 椀形土器	底部残存 底 8.8cm		中央東寄り 床面直上	①細砂を少量含む。 ②還元焰。 ③灰GY6/1	下位に丸みをもつ深い体部で、断面長方形の高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転糸切り。付高台。
1750	土師器 壺形土器	口縁～体部下位残存 口 19.1cm		貯蔵穴内 底面下6cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③明赤褐色5YR5/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直列。下位横方向直列。 内面 口縁部横ナデ。
1752	須恵器 長頸 壺形土器	口縁～頸部残存 口 13.2cm		中央北寄り 床面直上	①細砂・少量の小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y5/1	直立に近く立ち上がり、上位で外湾する口縁部。頸部はさらに直立し下層は腰をもつ。 外面 口縁部回転ナデ調整。内面 口縁部回転ナデ調整。
1753	須恵器 壺形土器	体部上位～底部残存 底 9.0cm		貯蔵穴内 底面下8.5cm	①微細砂・黒色炭粉粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	丸い体部の縦形土器。断面台形の巾広の高台を付す。 外面 体部回転ナデ調整。底部回転糸切り難し。付高台。 内面 体部～底部回転ナデ調整。
1751	須恵器 長頸 壺形土器	体部上位～底部残存 底 (9.2cm)		東壁際 床面上5.5cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰GY5/1	肩のほとんど直線的に長い体部。断面長方形の高台を付す。 外面 体部回転ナデ調整。底部切り難し技法不明。ナデ調整。 内面 体部～底部回転ナデ。
1754	須恵器 長頸 壺形土器	体部下位～底部残存 底 (11.2cm)		東壁際 床面上3.5cm	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰N6/	わずかに膨らみをもつ体部に、断面台形の高台を付す。 外面 体部回転ナデ。底部切り難し技法不明。ナデ調整。 内面 体部回転ナデ。底部回転指ナデ。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

6区8号住居出土遺物観察表(土器) 第120図・PL47

番号	器種	残状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴	
1777	土器蓋 杯形土器	口縁~底部片残存	口径13.0cm 高 3.0cm	中央寄寄り 床面上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙2.5YR5/6	平底からやや膨らみをもって、大きく外反する体部に至る。口縁部は内湾し、端部内面は玉縁状。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。底部直削り。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1778	土器蓋 杯形土器	口縁~体部片欠損	口径12.3cm 高 3.1cm	南東隅 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③橙3YR5/6	平底から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に至る。口縁部はさらに外反し、端部は内湾し内面玉縁状。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。底部直削り。中央に砂底を残す。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1781	土器蓋 杯形土器	定形	口径11.8cm 高 3.5cm	南東隅 床面直上	①微細砂・礫石・細砂を多く含む。②酸化焼。 ③橙2.5YR5/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し、内面端部は玉縁状。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。指押さえ。底部直削り。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1779	土器蓋 杯形土器	口縁~底部片欠損	口径12.4cm 高 3.1cm 底(8.2cm)	南東隅 床面上3.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2.5YR5/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し、内面端部は玉縁状。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。底部直削り。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1782	土器蓋 杯形土器	口縁~体部片欠損	口径12.0cm 高 3.2cm 底 7.3cm	南東隅 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③橙3YR5/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。底部直削り。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1780	土器蓋 杯形土器	口縁部片欠損	口径12.0cm 高 3.2cm 底 7.8cm	南東隅 床面上18.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2.5YR5/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し、内面端部は玉縁状の痕をもつ。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。指押さえ。底部直削り。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1785	土器蓋 杯形土器	口縁~底部片残存	口径12.3cm 高 3.4cm	南東隅 床面上7cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤い焼7.5YR5/4	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。底部直削り。内面 口縁部横ナダ。体部~底部丁寧ナダ。	
1783	黒色土器 杯形土器	口縁~底部破片	口径12.6cm 高 4.2cm 底(5.5cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③(内)黒N15/ (外)洗黄焼10YR8/3	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③(内)黒N15/ (外)洗黄焼10YR8/3	小さな底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。外面 口縁部~体部直削ナダ。底部回転軸不切り。無調整。内面 口縁部~底部横方向細かい異磨き。黒色結核。
1771	須恵系 杯形土器	口縁部一部欠損	口径12.4cm 高 4.0cm 底 5.4cm	野蔵穴内 床面上17cm	①細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y6/1	底径が小さく、直線的な体部。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。無調整。	
1768	須恵系 杯形土器	口縁~体部片残存	口径12.8cm 高 4.2cm 底 6.2cm	南東隅 床面直上	①細砂・小礫を少量含む。 ②還元焼。 ③灰白10YR7/1	底径が小さく、口縁部が外反する。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。無調整。	
1774	須恵系 高台付 椀形土器	口縁~高台部分残存	口径12.3cm 高 3.3cm 底(5.4cm)	南東隅 床面上9cm	①細砂を少量含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y4/1	扁平な体部で、開いた高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1770	須恵系 高台付 椀形土器	底部・高台部分欠損	口径15.8cm	野蔵穴内 床面上15cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③黄灰2.5Y6/1	わずかな膨らみをもつ、深い体部。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1766	須恵系 高台付 椀形土器	口縁~体部片欠損	口径14.4cm 高 6.4cm 底 7.6cm	中央 床面上13cm	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰5Y6/1	下位に丸みをもつ深い体部。断面台形の低い高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1769	須恵系 高台付 椀形土器	口縁~体部片欠損	口径14.4cm 高 5.7cm 底 6.6cm	南東隅 床面上11cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③橙2.5YR5/6	直線的な深い体部で、断面台形の低い高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。無調整。	
1776	須恵系 高台付 椀形土器	口縁~体部片欠損	口径13.8cm 高 5.3cm 底 6.4cm	野蔵穴内 床面下7.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰7.5Y6/1	小さな底部から直線的な体部に至り、断面台形の低い高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1772	須恵系 高台付 椀形土器	口縁部一部欠損	口径15.3cm 高 6.3cm 底 7.1cm	野蔵穴内 床面上13.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ④灰白5YR7/1	わずかな膨らみをもつ深い体部で、断面台形の高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1773	須恵系 高台付 椀形土器	口縁部一部欠損	口径15.2cm 高 5.9cm 底 7.2cm	野蔵穴内 床面下7.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ④灰白5Y7/1	わずかな膨らみをもつ深い体部で、断面が方形の高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1775	須恵系 高台付 椀形土器	口縁~底部片残存	口径14.7cm 高 6.2cm 底 7.1cm	南東隅 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤い焼10YR6/4	わずかな膨らみをもつ深い体部で、開いた高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1767	須恵系 高台付 椀形土器	口縁~底部片残存	口径14.8cm 高 5.6cm 底 7.8cm	南西隅 床面上3cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ④灰7.5Y6/1	体部が丸みをもって、口縁部が顕著につけられている。端部の低い高台を付す。 内外面 口縁部~体部回転ナダ。底部回転軸不切り。付高台。	
1761	土器蓋 椀形土器	口縁~体部上位片残存	口径20.0cm	竈前 床面直上	①微細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②還元焼。 ③橙3YR5/6	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する。 外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向直削ナダ。 内面 口縁部横ナダ。体部上位横方向直削ナダ。	
1763	土器蓋 椀形土器	口縁~体部上位片残存	口径20.2cm	中央寄寄り 床面上10cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③赤い焼5YR6/4	丸みのある体部から直立して、上位で短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向直削り。 内面 口縁部横ナダ。体部上位横方向直削り。	

遺物観察表

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1760	土師器 壺形土器	口縁～体部下位片残存 口 (19.8cm)	中央	床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/8	丸みのある体部から直立し、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向削り後、下半横方向削り。 内面 口縁部横ナダ。体部横方向削ナダ。
1762	土師器 壺形土器	口縁～体部下位片残存 口 (20.6cm)	中央南寄り	床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	丸みのある体部から直立して、上位で短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向削り、下半横方向削り。 内面 口縁部横ナダ。体部横方向削ナダ。
1764	土師器 台付 壺形土器	口縁～体部上位片残存 口 (14.2cm)	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	丸みのある体部から直立して、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向削り。 内面 口縁部横ナダ。体部横方向削ナダ。
1765	土師器 台付 壺形土器	体部中位～台部残存 底 8.9cm	中央南寄り	床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	丸みのある台部から、裾がやや内湾して開く台部に至る。 外面 体部下半横方向削り。底部～台部横方向ナダ調整。 内面 体部下半横方向削ナダ。底部～台部横方向ナダ調整。

6区9号住居出土遺物観察表(土器)第121回・PL48

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1768	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (11.6cm) 高 2.9cm	埋没土		①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	平底から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に至る。口縁部は内湾する。内面底部は玉縁状。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。指押さえ。底部磨り。内面 口縁部横ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1769	土師器 杯形土器	口縁部片残存 口 11.8cm 高 3.3cm 底 8.0cm	埋没土		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	平底から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に至る。口縁部は内湾し、内面底部に玉縁状の稜をもつ。外面 口縁部横ナダ。体部指押さえ。ナダ。底部磨り。内面 口縁部横ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1790	土師器 杯形土器	体部～底部破片	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 体部下半横方向削り。底部磨り。 内面 体部ナダ後、放射状の細い磨き。底部丁寧ナダ。
1786	ロクロ 土師器 碗形土器	底部のみ残存 高 8.2cm	中央	床面直上	①砂粒を含む。赤色鉱物粒が目立つ。②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	平底。 外面 底部回転未切り。無調整。 内面 底部一方の細かい磨き。黒色処理。
1784	須恵器 土師器 碗形土器	口縁～底部片残存 口 (13.0cm) 高 5.8cm 底 (7.4cm)	南東隅	床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	下位に丸みをもつ深い体部。 内外裏 口縁部～体部回転ナダ。内面に十字の刻みあり。底部回転未切り。無調整。
1791	須恵器 皿形土器	口縁部欠片 口 (15.6cm) 高 2.5cm 底 6.8cm	埋没土		①細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③明赤褐5Y6/7	体部が扁平で、口縁部が水平に開く。 内外裏 口縁部～体部回転ナダ。底部回転未切り。無調整。
1787	土師器 壺形土器	頸部～体部下位片残存 口 (24.0cm)	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	丸みをもつ頸部上位から直立して、上位で短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向削り後、下半横方向削り。内面 口縁部横ナダ。体部横方向削ナダ。

6区10号住居出土遺物観察表(土器)第122回・PL48

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1792	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.4cm) 高 3.4cm 底 6.9cm	中央南東寄り	床面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	平底から、大きく外反する体部に至る。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナダ。体部指押さえ。指ナダ。底部磨り。 内面 口縁部横ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1793	須恵器 高台付 碗形土器	体部下位～底部片残存 底 (6.4cm)	竈内	使用直上7.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい橙7YR7/4	小さな底部から直線的な体部に至る。 内外裏 口縁部～体部回転ナダ。底部回転未切り。無調整。
1794	土師器 壺形土器	口縁～体部下位片残存 口 (21.0cm)	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR5/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナダ。体部上位横方向削り。 内面 口縁部横ナダ。体部上位横方向削ナダ。

6区15号住居出土遺物観察表(土器)第123回

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1795	土師器 杯形土器	口縁～体部片残存 口 (12.3cm)	埋没土		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	大きめの平底から、鋭い稜をもって外反する体部に至る。口縁部は外反する。外面 口縁部横ナダ。体部指ナダ。底部磨り。 内面 口縁部横ナダ。体部～底部丁寧ナダ。

7区1号住居出土遺物観察表(土器)第124回・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1800	土師器 杯形土器	口縁～体部欠片 口 13.3cm 高 5.0cm 底 6.3cm	北東壁際	床面直上1cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐5YR6/6	小さな底部から、大きく外反する深い体部に至る。口縁部は端部外面に面とりする。外面 口縁部横ナダ。体部斜方向削り後、上部横方向削り。底部磨り。一部に砂底痕残る。 内面 口縁部横ナダ。体部～底部丁寧ナダ。

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1799	土師器 高台付 椀形土器	口縁部瓦割削 口 14.1cm 高 5.6cm 底 7.2cm	西壁部 床面上6cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③にぶい黄緑5YR7/3	小さな底部から、大きく外反する体部に至る。口縁部はやや内湾し肥厚する。前面台形の高台を付す。外側 口縁部横ナデ。体部斜方向内側ナデ。底部直ナデ。高台縁部ナデ調整。 内側 口縁部横ナデ。体部一底部縦・斜方向間へ見張り。	
1798	土師器 土師器 壺形土器	口縁部破片 口 (14.2cm)	東壁部 床面上11cm	①微細砂・白色鉱物粒を含む。 ②酸化肌。 ③橙7.5YR6/6	口縁部上位と下位の屈曲が異なる。 外側 口縁部横ナデ。体部横方向内側ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向内側ナデ。	
1797	土師器 壺形土器	口縁部一底部中位残存 口 19.0cm	南西隅 床面上3.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	丸みのある体部から直立して、短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向内側ナデ。	

7区2号住居出土遺物観察表《土器》第125図

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1802	土師器 壺形土器	口縁部一底部中位破片 口 (22.8cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR4/6	器内が厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側ナデ。下半横方向内側ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向内側ナデ。	
1801	土師器 壺形土器	口縁部一底部中位破片 口 (16.0cm)	南東部 床面上4.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③にぶい橙7.5YR6/4	膨らみのない体部から少し直立して、短く外反する口縁部に至る。口縁部はやや肥厚する。外側 口縁部横ナデ。体部斜方向内側ナデ。ナデ。内側 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。	
1820	土師器 壺形土器	体部中位破片 口 (18.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③にぶい橙7.5YR6/4	1801と同一の体部破片。 外側 体部横方向内側ナデ。中位ナデ調整。 内側 体部横方向の丁寧ナデ。	
1821	土師器 壺形土器	底部破片 底 (7.2cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③にぶい橙7.5YR6/4	膨らみをもって立ち上がる底部破片。1801と同一の底部破片。 外側 体部下端斜方向内側ナデ。底部直ナデ。 内側 体部一底部丁寧ナデ。	

7区5号住居出土遺物観察表《土器》第126図・PI.49

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1805	土師器 杯形土器	口縁部一底部瓦割削 口 (13.9cm) 高 5.0cm 底 (8.0cm)	竈内 使用面上10cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③にぶい橙7.5YR7/4	小さな平底から、膨らみをもって大きく外反する体部に至る。口縁部は肥厚しない。外側 口縁部横ナデ。体部斜方向内側ナデ。上半横方向内側ナデ。底部直ナデ。周縁のみ直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部一底部丁寧ナデ。	
1806	土師器 杯形土器	口縁部瓦割削 口 (12.0cm) 高 4.5cm 底 7.0cm	貯蔵穴車座 床面上8cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③橙7.5YR6/6	小さな底部から、大きく外反する体部に至る。口縁部は外反する。 外側 口縁部横ナデ。また口唇部に保付着。体部直ナデ。指押さえ。上半に「王」字部。底部直ナデ。周縁部のみ直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部一底部丁寧ナデ。	
1807	灰釉陶器 高台付 椀形土器	口縁部一高台付残存 口 (10.2cm) 高 3.2cm 底 (4.4cm)	埋没土	①微細砂・黒色鉱物粒を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	やや丸みをもった体部から、外反する口縁部に至る。小形。前面台形の高台を付す。蓋け除け無効。外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部付高台ナデ調整。内側 口縁部横ナデ。体部一底部直ナデ。	
1804	灰釉陶器 高台付 椀形土器	口縁部瓦割削 口 14.8cm 高 5.6cm 底 8.0cm	P内 直竈直上	①微細砂・少量の小塊を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	体部が収縮的で前面台形の高台を付す。 内外側 口縁部一底部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。	
1808	土師器 高台付 皿形土器	口縁部一底部瓦割削 口 (15.0cm) 高 3.0cm 底 (7.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元肌。 ③灰白10YR7/1	わずかな丸みをもつ体部から、小さく外反する口縁部に至り、くずれた三日月状の高台を付す。 内外側 回転ナデ。	
1803	土師器 壺形土器	口縁部一底部破片 口 (17.0cm)	中央部 床面上9cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③橙5YR6/6	膨らみのある体部上から、一旦直立して短く外反し、端部は内湾する口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側ナデ。	

7区9号住居出土遺物観察表《土器》第127図

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1811	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (14.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③橙5YR6/6	大きく外反する体部から、端部がやや内湾する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下端・斜方向内側ナデ。上半直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。	
1810	土師器 壺形土器	口縁部一上位瓦割削 口 (13.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③にぶい橙7.5YR5/3	口縁部が一且直立して上位で外反する。体部は丸い。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向内側ナデ。	

遺物観察表

8区1号住居出土遺物観察表(土器)第129図・PL5

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1812	土師器 羽釜	口縁部~底部残存 口 20.0cm 高 20.7cm 底 7.4cm	西壁際 床面上3.5cm	①陶磁砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	器内の厚く、浅い窪み。口縁部はほぼ直立し、断面三角形の筒を付す。 外側 口縁部横ナデ。体部下半部方向凹割り後、上半部方向凹ナデ。底部直削り。内側 口縁部横ナデ。体部~底部横方向凹ナデ。	
1813	須恵器 羽釜	体部下位一部欠損 口 21.5cm 高 26.6cm 底 (7.0cm)	南壁寄り 床面上11cm	①陶磁砂・白色炭化物を多く含む。 ②酸化焼。 ③浅黄褐色5YR8/3	断面三角形の筒から、内傾する口縁部に至る。体部の膨らみは少ない。平底。外側 口縁部横ナデ。体部下位~中位回転ナデ調整。下半部方向凹割り。底部直削り。内側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。	
1817	土師器 羽釜	口縁部~体部下位破片 口 (19.1cm)	埋没土	①陶磁砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR4/4	器内の厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部縦方向凹ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部縦方向ナデ。	
1814	土師器 壺形土器	口縁部~体部下位一部欠損 口 (20.7cm) 高 24.2cm 底 (5.6cm)	南壁寄り 床面上10.5cm	①陶磁砂・小礫を多く含む。 ②酸化焼。 ③浅黄褐色5YR8/4	器内の厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹割り後、下半部方向凹割り。底部直削り。内側 口縁部横ナデ。体部~底部横方向凹割り。	
1818	土師器 壺形土器	口縁部~体部下位残存 口 (17.4cm)	埋没土	①陶磁砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③浅黄褐色5YR4/2	器内の厚く体部に膨らみをもつて、短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹割り後、下半部方向凹割り。内側 口縁部横ナデ。体部縦方向凹ナデ。	
1816	須恵器 高台付 壺形土器	口縁部一部欠損 口 10.9cm 高 5.1cm 底 5.6cm	南壁際 床面直上	①陶磁砂・磁砂を含む。 ②還元焼。 ③黒褐色2.5Y3/1	器内の厚く、口縁部がくずれた「コ」の字状を呈する。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹割り後、下半部方向凹割り。内側 口縁部横ナデ。体部縦方向凹ナデ。	
1815	土師器 鉢形土器	口縁部~体部中位残存 口 (22.4cm)	南壁際 床面上3.5cm	①陶磁砂・小礫を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色5YR7/4	丸みのある体部から、やや内湾して立ち上がる口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹割り後、下半部方向凹割り。内側 口縁部横ナデ。体部縦方向凹割り。	

8区1号住居出土遺物観察表(金属器)第129図

番号	器種	高さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M16	不明		鉄	埋没土	断面方形の2種類の鉄製品が、調により付着した破片。一方は一辺0.25mの正方形に近い断面で鎌の軸のような形態を呈する。もう一方は、幅1.8cm、厚0.7cmの長方形の断面を呈する。板状鉄製品の破片である。

8区2号住居出土遺物観察表(土器)第130図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1819	須恵器 朝釜	口縁部~体部下位破片 口 (22.0cm)	東壁際 床面直上	①少量の小礫と多くの磁砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色5YR5/4	丸い体部に内湾する口縁部・尖った筒がつく。 外側 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。 内側 口縁部横ナデ。体部回転凹ナデ。	

8区3号住居出土遺物観察表(土器)第131図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1824	須恵器 杯形土器	口縁部~体部下位1/4残存 口 (16.0cm) 高 4.7cm	北壁際 床面直上	①陶磁砂・磁砂を含む。 ②還元焼。 ③黄褐色2.5Y6/	中位に膨らみをもつ浅い体部から、口縁部が外反する。 内外側 口縁部~体部回転ナデ。底部回転糸切り。無調整?	
1823	土師器 台付 壺形土器	口縁部~体部下位1/4残存 口 (12.2cm)	南壁際 床面直上	①陶磁砂を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR4/3	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部下位前方向凹割り。内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹ナデ。貫上端が著しく狭る。	
1822	土師器 壺形土器	口縁部~体部下位破片 口 (18.0cm)	北壁際 床面直上	①陶磁砂・磁砂を含む。 ②酸化焼。 ③褐色5YR6/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の曲率が異なる。 外側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹割り。内側 口縁部横ナデ。体部下位横方向凹ナデ。	

8区8号住居出土遺物観察表(土器)第133図・PL5

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1834	土師器 杯形土器	口縁部~底部1/4残存 口 (12.0cm)	埋没土	①磁砂を多く含む。 ②還元焼。 ③にぶい褐色5YR5/4	大きめの平底から、横をもつて直立に近く外反する深い体部に至る。口縁部は外反する。外側 口縁部横ナデ。体部直削り。底部直削り。内側 口縁部横ナデ。体部~底部直削りナデ。	
1832	土師器 杯形土器	口縁部~底部1/4欠損 口 12.5cm 高 4.2cm 底 5.0cm	貯蔵穴内 床面上3cm	①陶磁砂・磁砂を含む。 ②還元焼。 ③褐色5YR7/8	小さな平底から、大きく外反する体部に至る。口縁部は器部外面に面をとり、やや肥厚する。外側 口縁部横ナデ。体部縦方向凹割り後、上部直削り。底部直削り。内側 口縁部横ナデ。体部~底部直削りナデ。	
1833	須恵器 杯形土器	底部 底 6.0cm	西壁際 床面上8cm	①陶磁砂を含む。 ②還元焼。 ③灰白5Y7/1	小さな平底。 外側 底部回転糸切り。無調整。 内側 底部回転ナデ。	

## 2. 歴史時代後半期の出土遺物

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1827	土師器 葉形土器	口縁部破片 口 (18.4cm)		東壁寄り 床面上13cm	①微細砂・白色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。 ③紺SYR6/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1829	土師器 葉形土器	口縁～体部中位片残存 口 (18.6cm)		南西隅 床面直上	①細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2SYR5/6	体部の膨らみは弱く、口縁部上位・下位の屈曲は弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。中央に無調整部が残る。体部上位横方向直ナデ後、 下半縦方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部本端状工具による横方向直ナデ。
1826	土師器 葉形土器	口縁～体部中位片残存 口 (19.6cm)		東壁 使用面上8cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺SYR6/8	体部の膨らみは小さく、口縁部上位・下位の屈曲は弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ後、下半縦方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部本端状工具による横方向直ナデ。
1830	土師器 葉形土器	口縁～体部中位片残存 口 (21.6cm)		貯蔵穴内 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじい焼7SYR6/3	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外側 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。
1828	土師器 葉形土器	体部中位～底部残存 底 4.0cm		西壁隅 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2SYR5/8	小さな底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外側 体部下縦方向直ナデ。底部直ナデ。 内側 体部下縦～底部横方向直ナデ。
1825	土師器 台付 葉形土器	口縁片～台部残存 口 (12.2cm)		東壁隅 床面上8.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2SYR5/6	丸みのある体部から直立して、上方で短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上半縦方向直ナデ。下半縦方向直ナデ。台部 ナデ調整。内側 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。 外側 口縁部横ナデ。体部本端状工具による横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部本端状工具による横方向直ナデ。
1831	土師器 短頸 壺形土器	頸部～体部下位片残存 口 (27.3cm)		南西隅 床面上2cm	①細砂・白色鉱物粒を含む。 ②還元焼。 ③灰白GY7/1	短の頸の体部から、直下に近く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部本端状調整。 内側 口縁部横ナデ。体部本端状調整。

## 8区9号住居出土遺物観察表(土器)第135図・PI.52

番号	器種	残 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1847	土師器 杯形土器	口縁～高部破片 口 (13.0cm) 高 3.6cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③紺SYR6/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は内湾し、 内面曲部に横ナデを付す。外側 口縁部横ナデ。体部直ナデ。底部直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部～底部直ナデ。
1845	須恵器 杯形土器	口縁～高部片残存 口 12.4cm 高 3.4cm 底 (7.0cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③GSY4/1	体部が直線的に外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。
1846	須恵器 杯形土器	口縁～高部片残存 口 (13.0cm) 高 3.7cm 底 (6.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焼。 ③EN/S	体部が直線的に外反する。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。
1842	黒色土器 高台付 圓形土器	口縁～高部片残存 口 (12.8cm) 高 2.9cm 底 (6.4cm)		西壁寄り 床面直上	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③ (内) 紺10YR1.7/1 (外) にじい黄緑10YR5/4	扁平な体部で、低い高台を付す。 外側 口縁部～体部回転ナデ。底部切り磨し後、ナデ調整。付高台。 内側 口縁部～高部磨かじ磨磨。黒色処理。
1841	黒色土器 高台付 圓形土器	口縁～体部片欠損 口 13.7cm 高 2.6cm 底 7.0cm		貯蔵穴脇 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじい焼10YR5/3	体部が扁平で、口縁部が水平に開く。 外側 口縁部～体部回転ナデ。底部切り磨し後、ナデ調整。付高台。 内側 口縁部～体部磨かじ磨磨。黒色処理。
1844	須恵器 圓形土器	口縁部欠損 底 7.6cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③GSY5/1	扁平な体部。 内外側 体部回転ナデ。底部回転赤切り。無調整。
1843	須恵器 高台付 圓形土器	口縁～高部片残存 口 (14.0cm) 高 5.9cm 底 (7.2cm)		南壁寄り 床面直上	①微細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③GSV6/1	小さな底部から直線的な体部に至り、前面台形の低い高台が付く。 内外側 口縁部～体部回転ナデ。外面に「十」のカタ印。底部回転赤切 り。付高台。
1838	土師器 葉形土器	口縁部破片 口 (21.6cm)		西P内 床面上5.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2SYR5/8	口縁部が一直立して上位で外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1835	土師器 葉形土器	口縁～体部中位残存 口 19.2cm		甕前 床面上5.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤焼2SYR5/6	膨らみのある体部から直立して、上方で短く外反する口縁部に至る。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。下半縦方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。
1837	土師器 葉形土器	口縁部破片 口 (20.4cm)		西壁寄り 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にじい焼7SYR6/4	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1836	土師器 葉形土器	口縁～体部上位片残存 口 (20.0cm)		貯蔵穴脇 床面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺SYR6/8	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の 口縁部に至る。外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1839	土師器 葉形土器	口縁部破片 口 (20.2cm)		甕前 床面上5.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③紺SYR6/6	丸みをもつ体部上位から直立して、上位が短く外反する。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。 内側 口縁部横ナデ。体部上位横方向直ナデ。
1840	須恵器 皿	体部上位破片 底 (22.0cm)		東壁寄り 床面上18cm	①細砂と少量の小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰白GY7/2	丸みのある体部と断面円形の薄状の胎土が付く。 外側 体部回転ナデ。上位に1条の比線が引かれている。自然熱。 内側 体部回転ナデ。上位に1条の比線が引かれている。自然熱。

遺物観察表

8区9号住居出土遺物観察表(石器)第135図・PL52

番号	器種	残法 長さ・幅 厚さ(cm)	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・調整加工の特徴
S191	礫石	7.1・4.9 2.85	礫石 84.1	埋没土		表面・裏面が使用されている礫石。裏面は中央部が凹んでいる。半欠。

8区10号住居出土遺物観察表(土器)第135図・PL53

番号	器種	残法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1848	土師器 斐形土器	口縁～体部下位片残存 口 19.0cm	東壁寄り 床面上8.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR5/6	体部の膨らみは小さく、口縁部の上位・下位の屈曲は弱くなる。 外面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。 内面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。	
1849	土師器 斐形土器	口縁～体部下位片残存 口 (20.2cm)	東壁寄り 床面上6cm	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR5/6	丸みのある体部下位から直立して、上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部に至る。外面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。 内面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。	
1850	須恵器 長頸 壺形土器	底部破片・高台部欠損	中央東寄り 床面上10cm	①微細砂を含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y6/1	大きめの底部から、やや膨らみをもって立ち上がる。付高台。 外面 体部回転ナズ。最下部は回転削り。底部回転直切り後、丁寧な調整。内面 体部～底部回転ナズ。	
1851	須恵器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 13.4cm 高 3.7cm 底 5.2cm	東壁寄り 床面上8cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③褐色10YR4/1	中に膨らみをもつ浅い体部。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転直切り。無調整。	

8区12号住居出土遺物観察表(土器)第137図・PL53

番号	器種	残法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1305	土師器 杯形土器	口縁～底部片破片 口 (10.9cm) 高 3.3cm	貯蔵穴 床面上9cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③赤褐色5YR4/6	やや膨らんだ平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反し、口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナズ。体部直ナズ。底部直削り。内面 口縁部横ナズ。体部～底部丁寧ナズ。	
1306	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (11.6cm) 高 3.2cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化肌。 ③濃い褐色5YR6/4	やや膨らんだ平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもって外反し、口縁部は内湾する。外面 口縁部横ナズ。体部直ナズ。底部直削り。内面 口縁部横ナズ。体部～底部丁寧ナズ。	
1304	須恵器 杯形土器	口縁部片欠損 口 12.2cm 高 3.7cm 底 7.8cm	南壁側 床面上21.5cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元肌。 ③灰白5Y7/1	体部が段階的に外反する。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転直切り。無調整。	
1305	土師器 斐形土器	口縁部破片 口 (21.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③褐色5YR6/6	体部の膨らみが小さく、口縁部下位と上位の屈曲が弱くなる。 外面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。 内面 口縁部横ナズ。体部横方向直削り。	
1302	須恵器 斐形土器	口縁～体部下位片残存 口 (22.0cm)	北壁側 床面上18cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元肌。 ③暗灰N3/	肩の張る大形の壺。口縁部は小さく外反し、端部に面とする。 外面 口縁部横ナズ後、5本一単位の輪縁波状文を2条施文。体部全面に平行タタキ。内面 口縁部～体部下位調整。	

8区2号塔立柱建物出土遺物観察表(土器)第138図

番号	器種	残法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1306	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.0cm) 高 3.0cm	P 8 埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化肌。 ③褐色5YR6/6	大きめの平底から、内湾して口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナズ。体部膨らみさへ。基部があるが平坦でない。底部直削り。内面 口縁部横ナズ。体部～底部丁寧ナズ。	
1309	土師器 杯形土器	口縁～底部片破片 口 (12.0cm)	P 8 埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③褐色5YR6/6	丸みのある底部から、大きく外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナズ。体部膨らみさへ。基部一部に直削り。 内面 口縁部横ナズ。体部～底部丁寧ナズ調整。	
1400	土師器 杯形土器	口縁～体部下位片残存 口 (12.2cm)	P 3 埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化肌。 ③褐色5YR6/6	大きめの平底から、やや内湾して口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナズ。体部下位直削り。 内面 口縁部横ナズ。体部丁寧ナズ。	

9区1号住居出土遺物観察表(土器)第140図

番号	器種	残法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1853	須恵器 高台付 碗形土器	底部残存 底 6.5cm	埋没土	①細砂・小礫を少量含む。 ②酸化肌。 ③灰白10Y7/2	体部に丸みをもた、低い高台を付す。 内外面 口縁部～体部回転ナズ。底部回転直切り。付高台。	
1852	土師器 斐形土器	口縁部破片 口 (17.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR5/6	直立して上位が短く外反する「コ」の字状の口縁部を呈する。 外面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。 内面 口縁部横ナズ。体部下位横方向直削り。	



9区2号住居出土遺物観察表(土器)第142図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1857	須恵器 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 底 7.8cm	埋没土		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼成2.5YR6/6	わずかな膨らみをもつ体部に、うすい高い高台を付す。 内外面 体部回転ナダ。底部回転未切り。無調整。
1855	須恵器 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 底 7.0cm	東壁際 床面上5cm		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③灰白2.5Y7/1	小さな底部から直線的な体部に至り、断面台形の低い高台を付す。 内外面 体部回転ナダ。底部回転未切り。無調整。
1854	須恵器 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 底 5.8cm	東壁寄り 床面直上		①微細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焼。 ③焼成2.5Y7/2	下位に丸みをもつ深い体部に、断面台形の低い高台を付す。 内外面 体部回転ナダ。底部回転未切り。無調整。
1856	須恵器 椀形土器	口縁部破片 口 (16.0cm)	東壁際 床面上5cm		①細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼成10YR5/1	やや大形の椀の口縁部～体部破片。内面に○で囲まれた文字が書かれている。 内外面 体部回転ナダ調整。
1871	土師器 壺形土器	頸部破片	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/6	「コ」の字状を呈する口縁部破片。直径7mmほどの孔が穿たれている。 外面 口縁部傾ナダ。 内面 口縁部傾ナダ。

9区4号住居出土遺物観察表(土器)第143図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1858	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (11.4cm) 高 3.5cm	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/4	やや膨らんだ大さめの平底から、鋭い稜をもって体部に至る。体部はやや膨らみをもつて外反する。口縁端部はやや内湾。 外面 口縁部傾ナダ。体部指ナダ。底部寛削り。 内面 口縁部傾ナダ。2か所所塗埋付。体部～底部丁寧ナダ。
1859	土師器 杯形土器	口縁～体部片残存 口 (12.0cm)	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/4	大さめの平底から、稜をもって外反する体部に至る。口縁部と体部の間には段があり、口縁部は内湾する。外面 口縁部傾ナダ。体部指ナダ。 内面 口縁部傾ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1860	須恵器 杯形土器	底部残存 底 7.0cm	埋没土		①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼成2.5Y6/1	大さめの底部。 外面 底部回転未切り。無調整。 内面 底部傾ナダ。
1861	須恵器 円面鏡	台部破片 高 (17.0cm)	埋没土		①微細砂・黒色泥状物を含む。 ②酸化焼。 ③6Y5/6/1	ハの字に開き、端部が段をもって大きく外反する台部破片。長方形の切りこみ窓が穿らされている。 外面 台部ナダ後、20等分の位置に縦方向の横溝直線文。

9区5号住居出土遺物観察表(土器)第144図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1863	土師質 土器 不明	高台部破片か? 底 (8.4cm)	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③改良焼10YR8/3	高台部破片とも思われるが、推定が不明でない。 外面 上面および上縁は、皿周りのような整形痕がみられる。下半部は回転ナダ調整。内面 回転ナダ調整。
1862	須恵器 高台付 椀形土器	体部下位～高台部残存 底 (8.0cm)	埋没土		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼成5YR6/6	小さな底部から直線的な体部に至り、断面台形の低い高台を付す。 内外面 体部回転ナダ。底部回転未切り。付高台。

11区1号住居出土遺物観察表(土器)第146図・PL56

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1408	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (12.0cm)	埋没土		①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/4	平底から、やや膨らみをもつて外反する浅い体部に至る。口縁部は内湾し、内湾端部はY字状。外面 口縁部傾ナダ。体部指ナダ。底部寛削り。 内面 口縁部傾ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1409	土師器 杯形土器	口縁～体部片破片 口 (12.3cm) 高 3.3cm	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/4	大さめの平底から、稜をもって外反する体部に至る。口縁部は外反し、幅が広い。外面 口縁部傾ナダ。体部指ナダ。底部寛削り。 内面 口縁部傾ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1407	土師器 壺形土器	口縁～体部中位残存 口 (20.8cm)	竈内 使用面直上		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/6	体部の膨らみは小さく、口縁部上位の縁曲が弱くなる。 外面 口縁部傾ナダ。体部上縁方向削り。中位縁方向削り。 内面 口縁部傾ナダ。体部前方削りナダ。

11区2号住居出土遺物観察表(土器)第147図・PL57

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1411	土師器 杯形土器	口縁部欠損 口 (12.0cm) 高 3.4cm	竈内 使用面直上		①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼成2.5YR6/6	大さめの平底から、稜をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は内湾する。外面 口縁部傾ナダ。体部丁寧ナダ。底部寛削り。 内面 口縁部傾ナダ。体部～底部丁寧ナダ。
1412	土師器 杯形土器	口縁～底部片残存 口 (11.6cm) 高 3.2cm	竈前 床面直上		①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③により赤褐色5YR5/4	大さめの平底から、稜をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は外反する。外面 口縁部傾ナダ。体部丁寧ナダ。底部寛削り。 内面 口縁部傾ナダ。体部～底部丁寧ナダ。

遺物観察表

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1415	土師器 杯形土器	口縁~底部片残存	2.9cm	埋没土	①黒細砂を含む。 ②焼成焼。 ③灰2.5YR6/6	大きめの平底から、脛をもって直立に近く外反する体部に至る。口縁部は内湾する。外側 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。底部直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部一底部丁寧ナデ。
1416	須恵器 杯形土器	口縁部片欠損	口 (14.4cm) 高 3.3cm 底 7.0cm	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰2.5Y5/1	体部中に膨らみをもり、口縁部が反り気味に開く。 内外側 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1417	須恵器 杯形土器	口縁~体部上位残存	口 (14.0cm)	埋没土	①細砂を少量含む。 ②焼成焼。 ③灰黄2.5Y7/3	丸みをもって外反する体部。 内外側 口縁部~体部回転ナデ。
1410	土師器 壺形土器	口縁~体部下位片残存	口 (18.4cm)	竈内 使用面上6cm	①黒細砂・細砂を多く含む。 ②焼成焼。 ③灰2.5YR6/6	体部の膨らみが少なく、口縁部下位と上位の屈曲が弱い。 外側 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り後、下半縦方向削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向丁寧ナデ。
1414	須恵器 長形 壺形土器	体部下位のみ残存		南壁寄り 床面直上	①細砂・小礫を含む。 ②還元焼。 ③灰10Y5/1	流線的に外反する体部。 外側 体部回転ナデ。下位盤ナデ。底部砂成？ 内側 体部~底部回転ナデ。
1413	須恵器 瓶	口縁部・肥子欠損	底 8.5cm	竈左袖付近 床面直上	①黒細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰N6/	平底から、やや膨らみをもって外反する浅い体部に、水平に近い天井部がのる。天井部の端に頸部が直立する。 外側 体部ナデ調整。底部切り難し技法不明。付高台。

II区方形遺構出土遺物観察表(土器)第148図

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1868	土師器 杯形土器	口縁~体部片残存	口 (14.0cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②焼成焼。 ③灰2.5YR6/6	平底から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。口縁部は大きく外反し、端部はやや内湾する。外側 口縁部横ナデ。体部横方向削り。 底部直削り。内側 口縁部横ナデ。体部ナデ後、放射状の細い削り。
1866	須恵器 高台付 壺形土器	口縁~高台部片破片	口 (15.5cm) 底 (8.0cm)	中央部 床面上4cm	①細砂・小礫を少量含む。 ②還元焼。 ③灰黄2.5Y7/2	下位に丸みをもつ深い体部で、断面長方形の低い高台を付す。 内外側 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。無調整。
1865	須恵器 高台付 壺形土器	口縁~底部片残存	口 (16.2cm) 高 6.4cm 底 (9.0cm)	北東寄り 床面上2cm	①黒細砂・細砂を含む。 ②還元焼。 ③に2.5Y黄10YR7/4	わずかな膨らみをもつ深い体部で、開いた高台を付す。体部にクロロ気 顯著。 内外側 口縁部~体部回転ナデ。底部回転未切り。付高台。
1867	須恵器 高台付 壺形土器	底部残存	底 (8.0cm)	南東 床面上16.5cm	①黒細砂・細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰2.5Y6/1	断面長方形の高台部。 外側 底部回転未切り。付高台。 内側 底部回転ナデ。
1864	土師器 台付 壺形土器	台部片残存	底 (10.3cm)	北西 床面上10.5cm	①黒細砂を多く含む。 ②焼成焼。 ③に1.0Y7.5YR5/4	やや膨らんで大きな裾が開く台部破片。 外側 台部丁寧ナデ調整。 内側 台部丁寧ナデ調整。

群馬県埋蔵文化財調査事業団  
発掘調査報告第223集

荒砥上ノ坊遺跡Ⅲ  
歴史時代後半期の調査  
《遺物観察表編》

昭和57年度県営農場整備事業荒砥北部  
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

平成9年3月20日 印刷

平成9年3月25日 発行

編集・発行／群馬県教育委員会  
〒371 前橋市大手町1丁目1番1号  
電話 (027) 223-1111(代表)

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2  
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社